

将来の人口動態・入院患者動態等



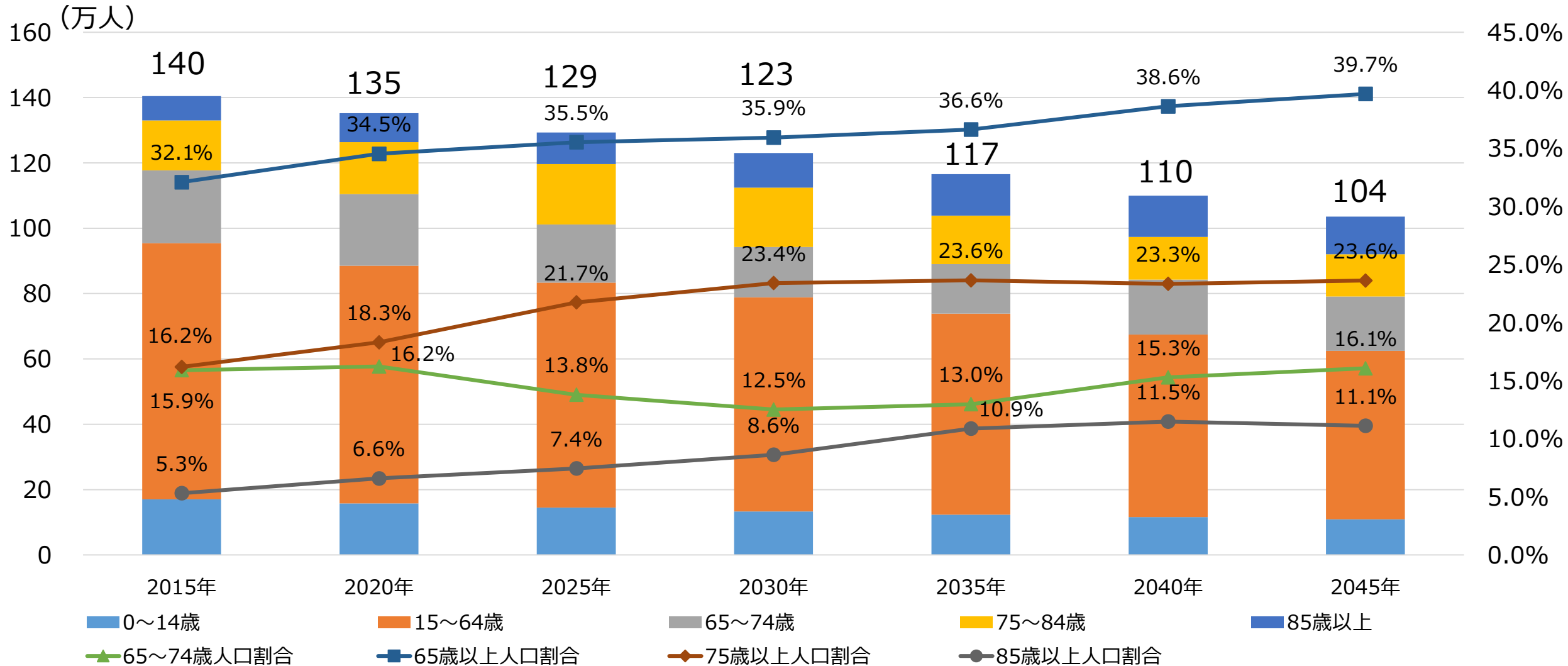
Ver.1.2

山口県健康福祉部医療政策課

山口県の将来推計人口

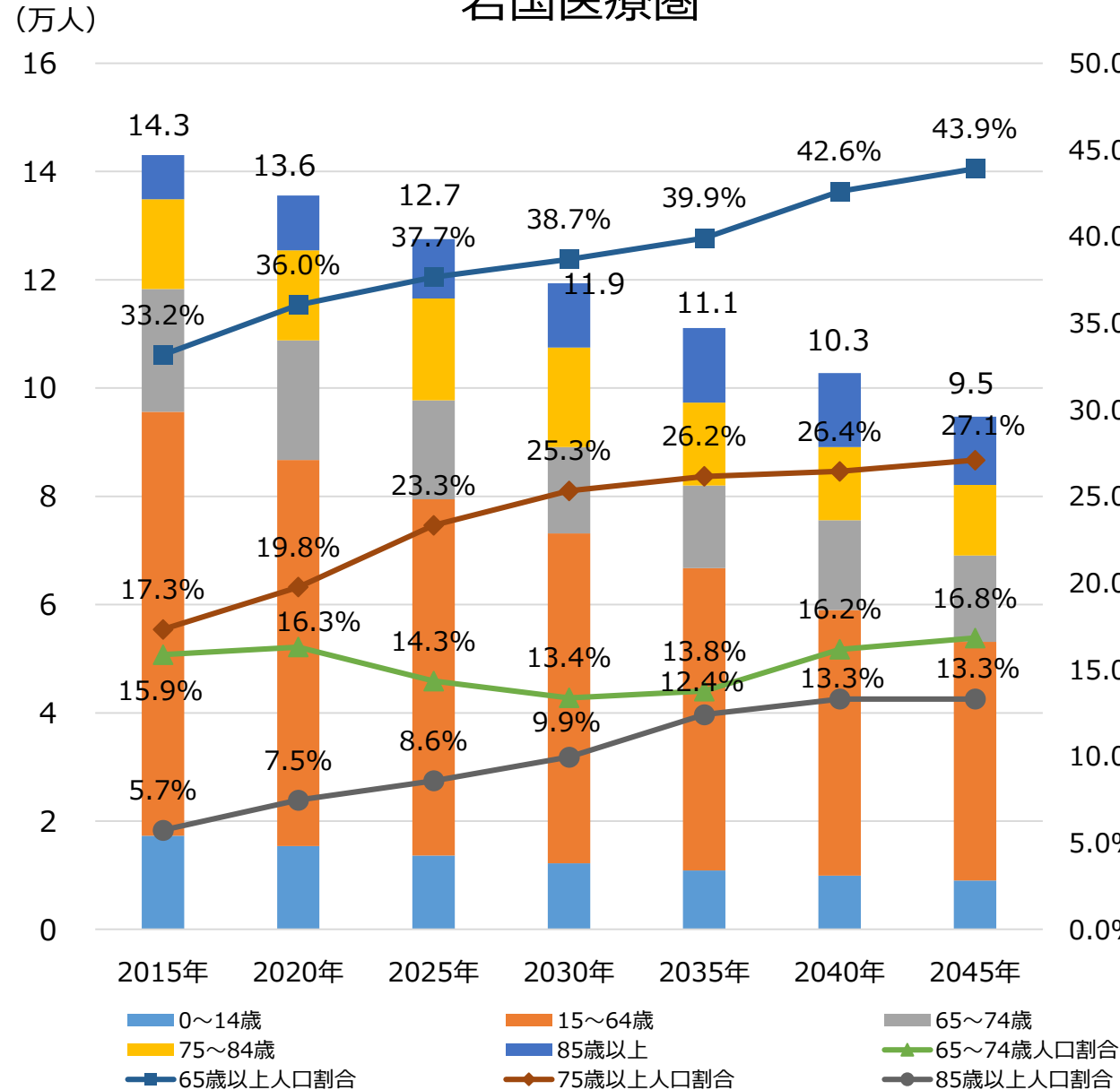
○既に「0～14歳」、「15～64歳」は減少し、「65～74歳」は今後減少する。

○後期高齢者「75歳以上」の割合は増加し、2035年にピークを迎え、「85歳以上」の割合は2040年にピークを迎える。

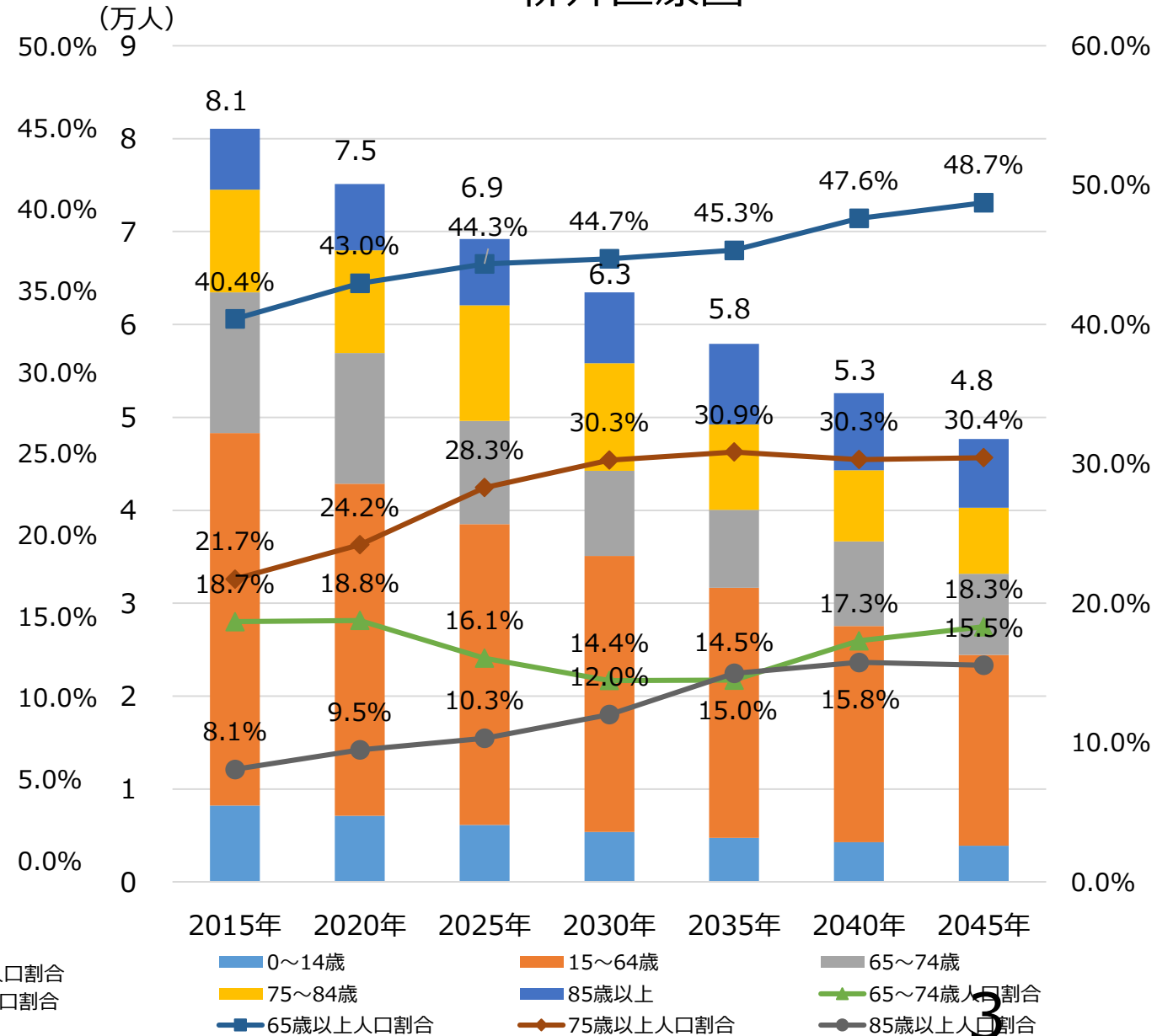


【医療圏別】将来推計人口

岩国医療圏

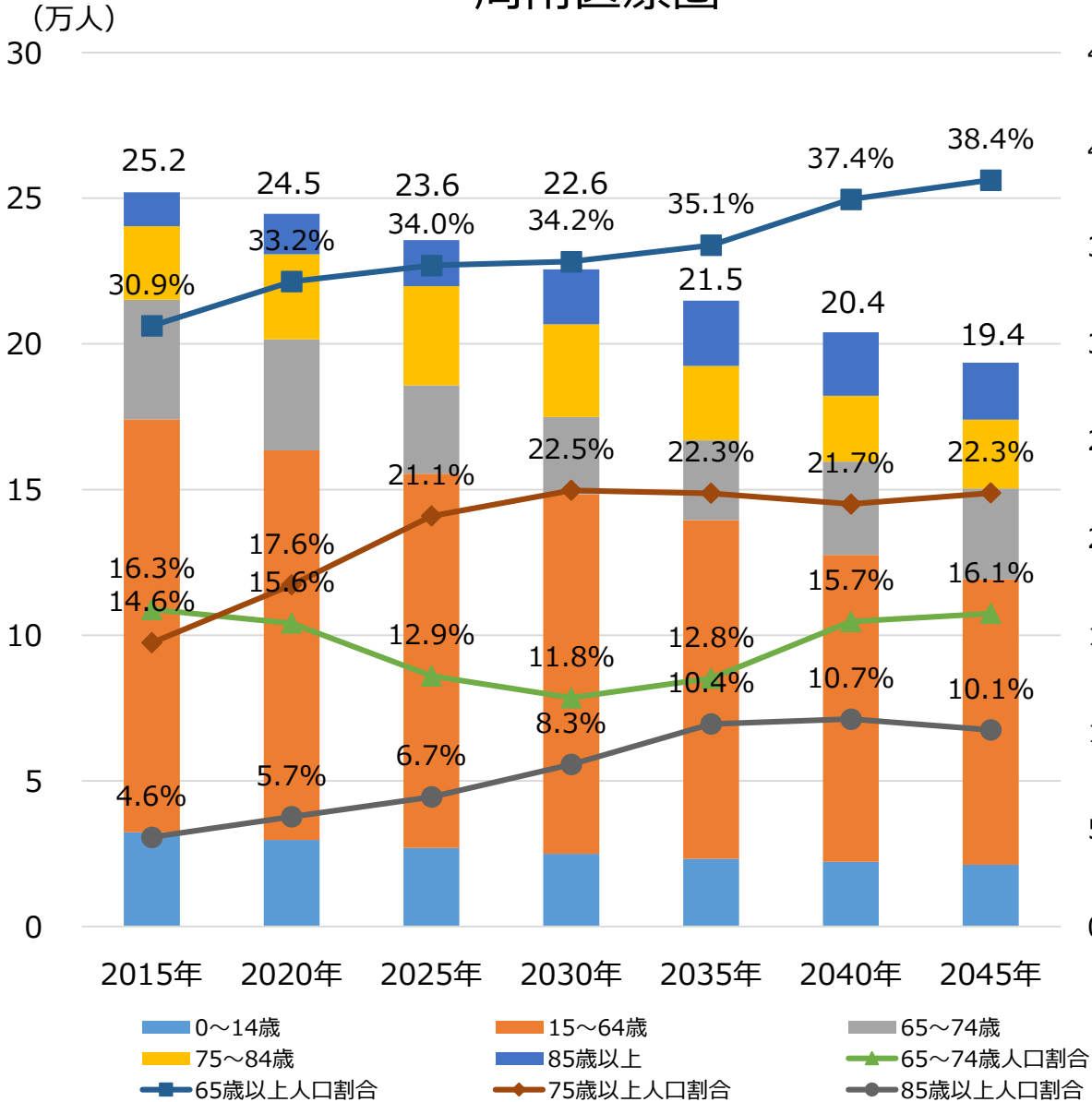


柳井医療圏

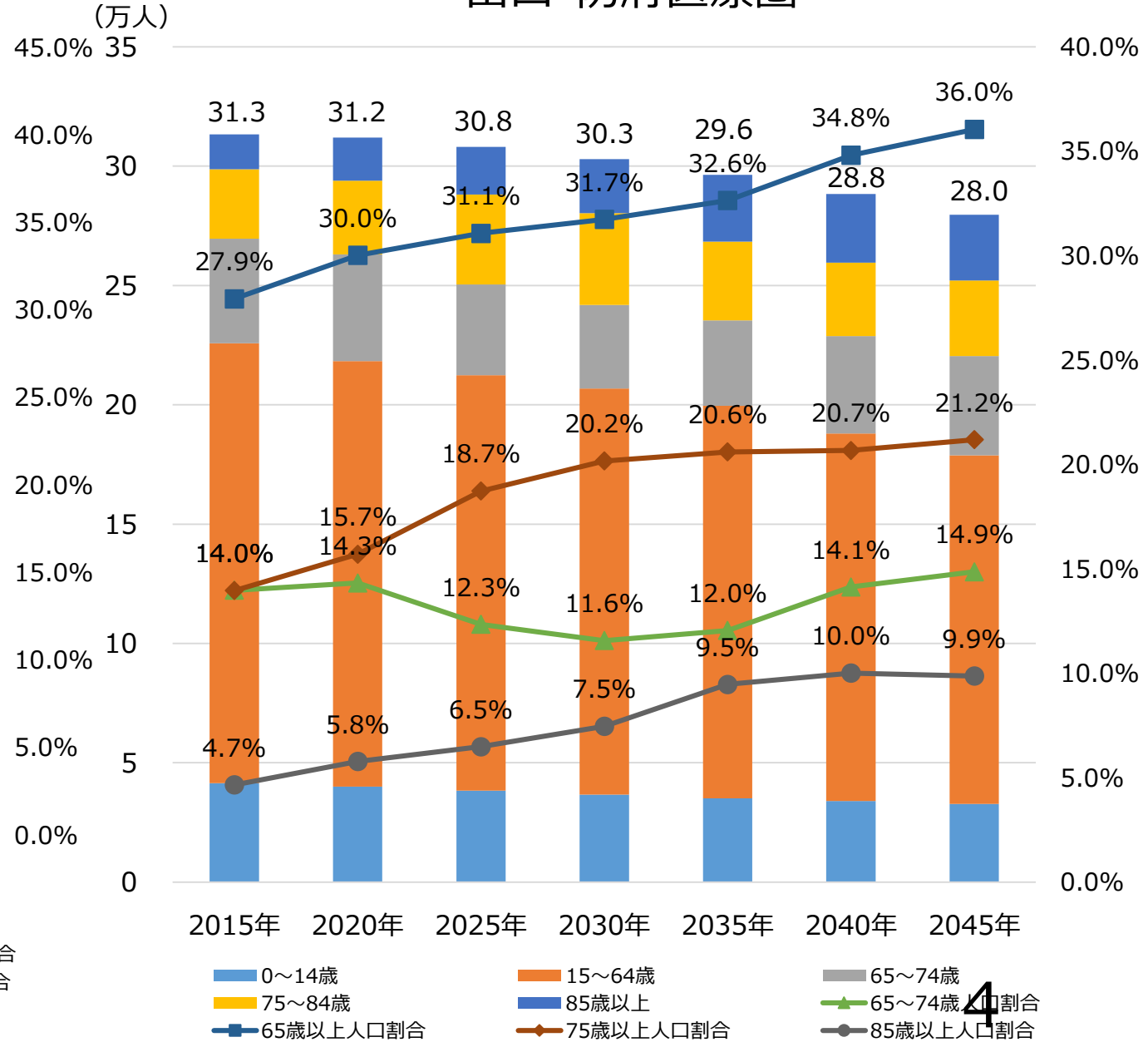


【医療圏別】将来推計人口

周南医療圏

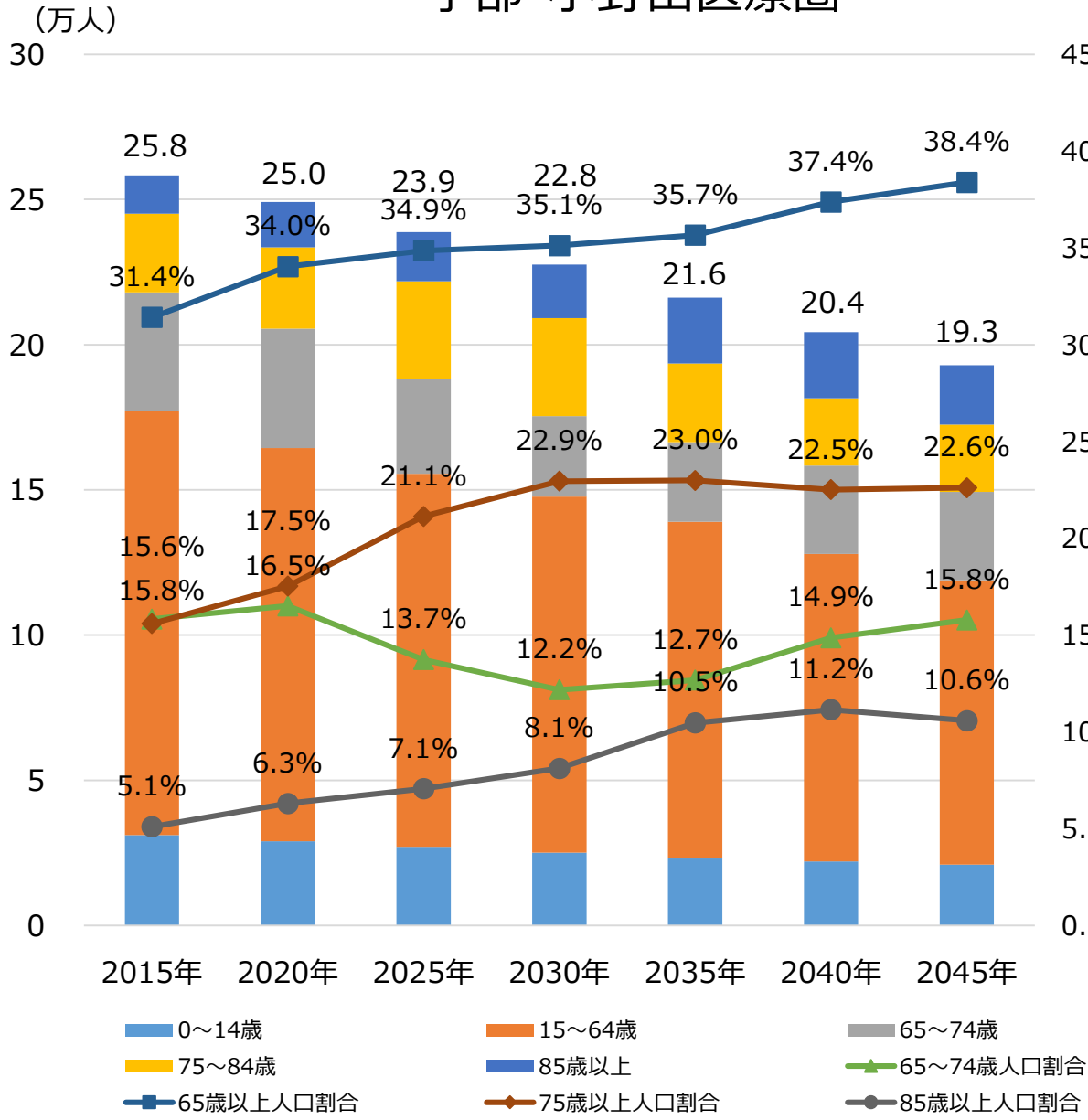


山口・防府医療圏

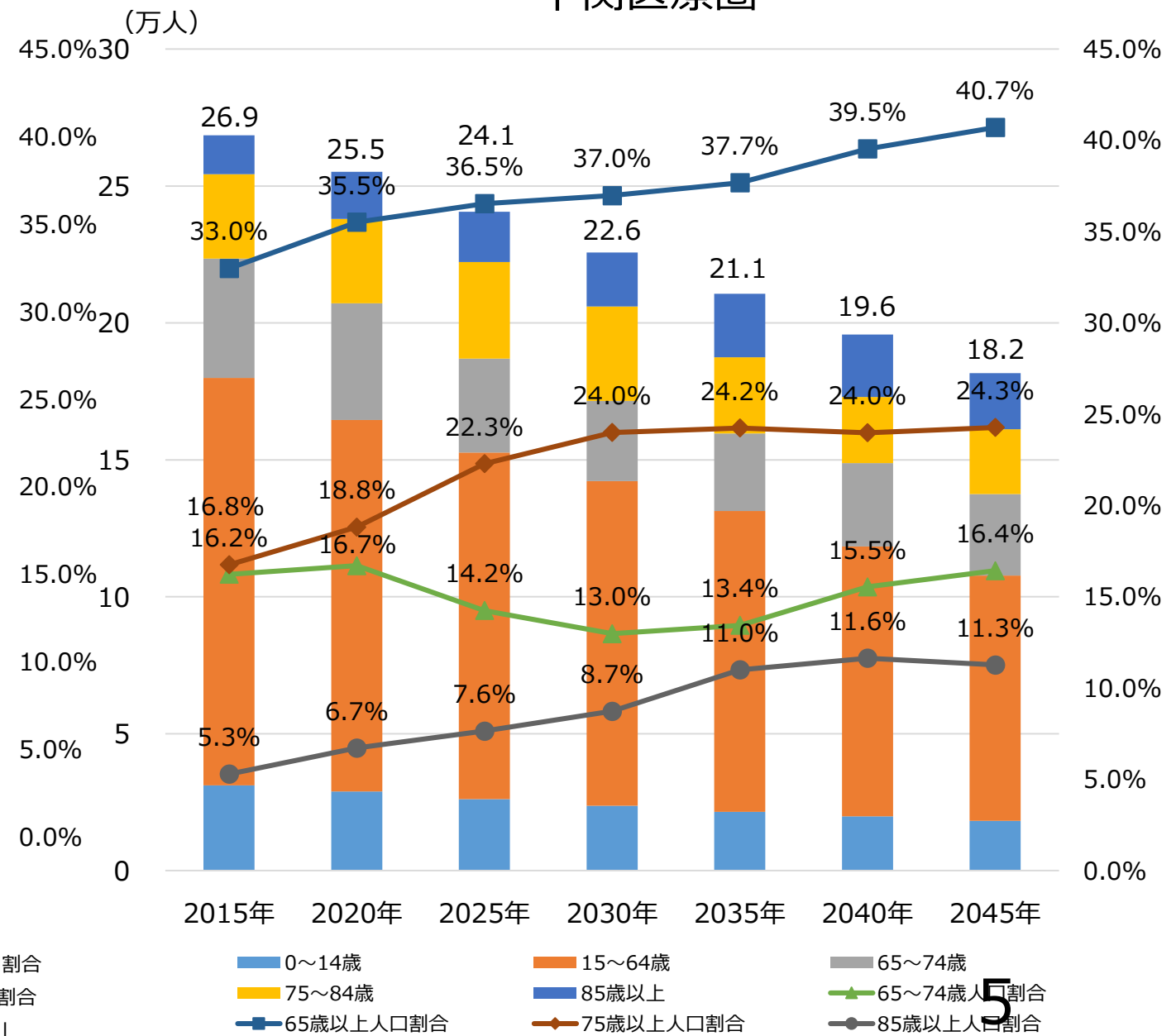


【医療圏別】将来推計人口

宇部・小野田医療圏



下関医療圏

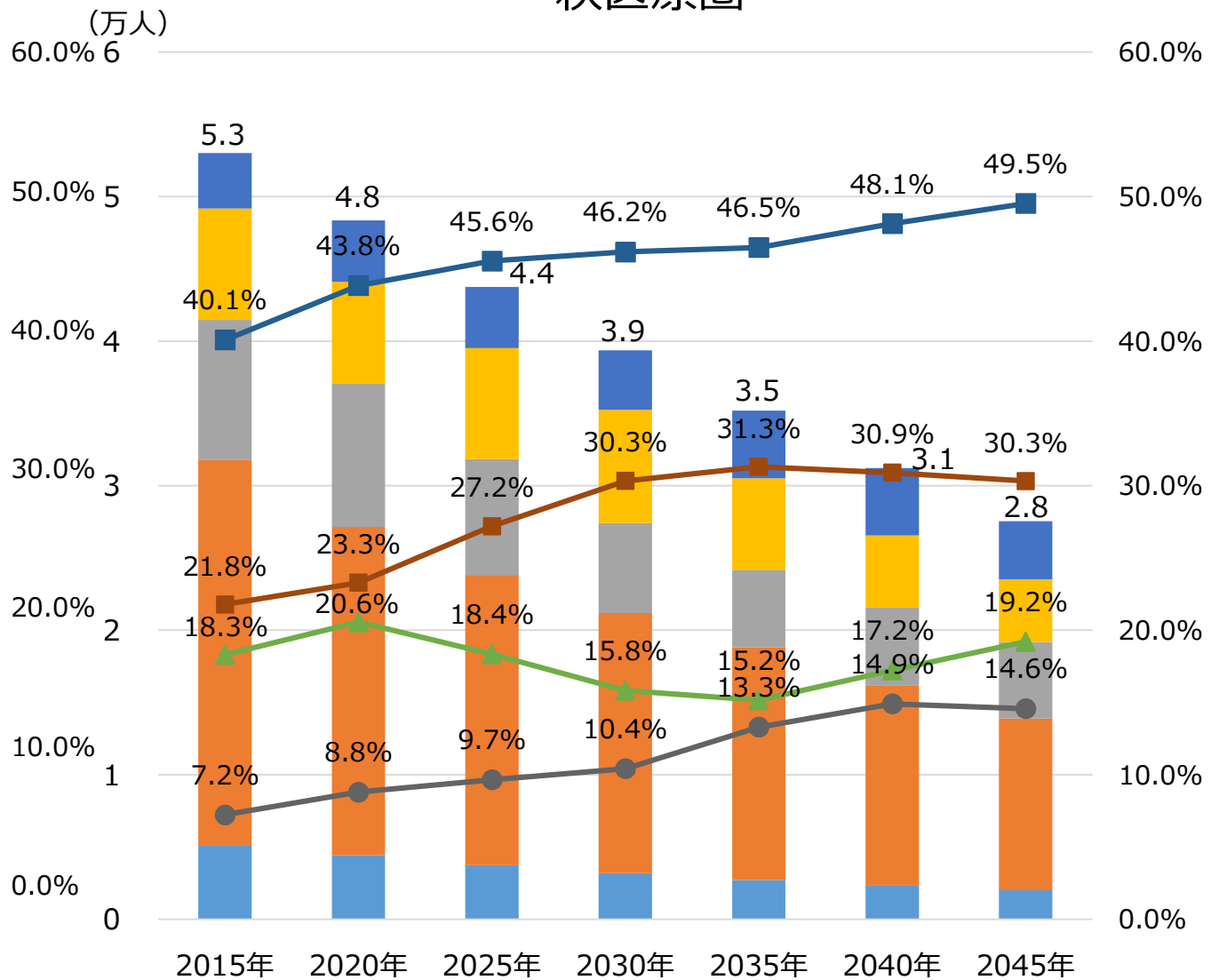
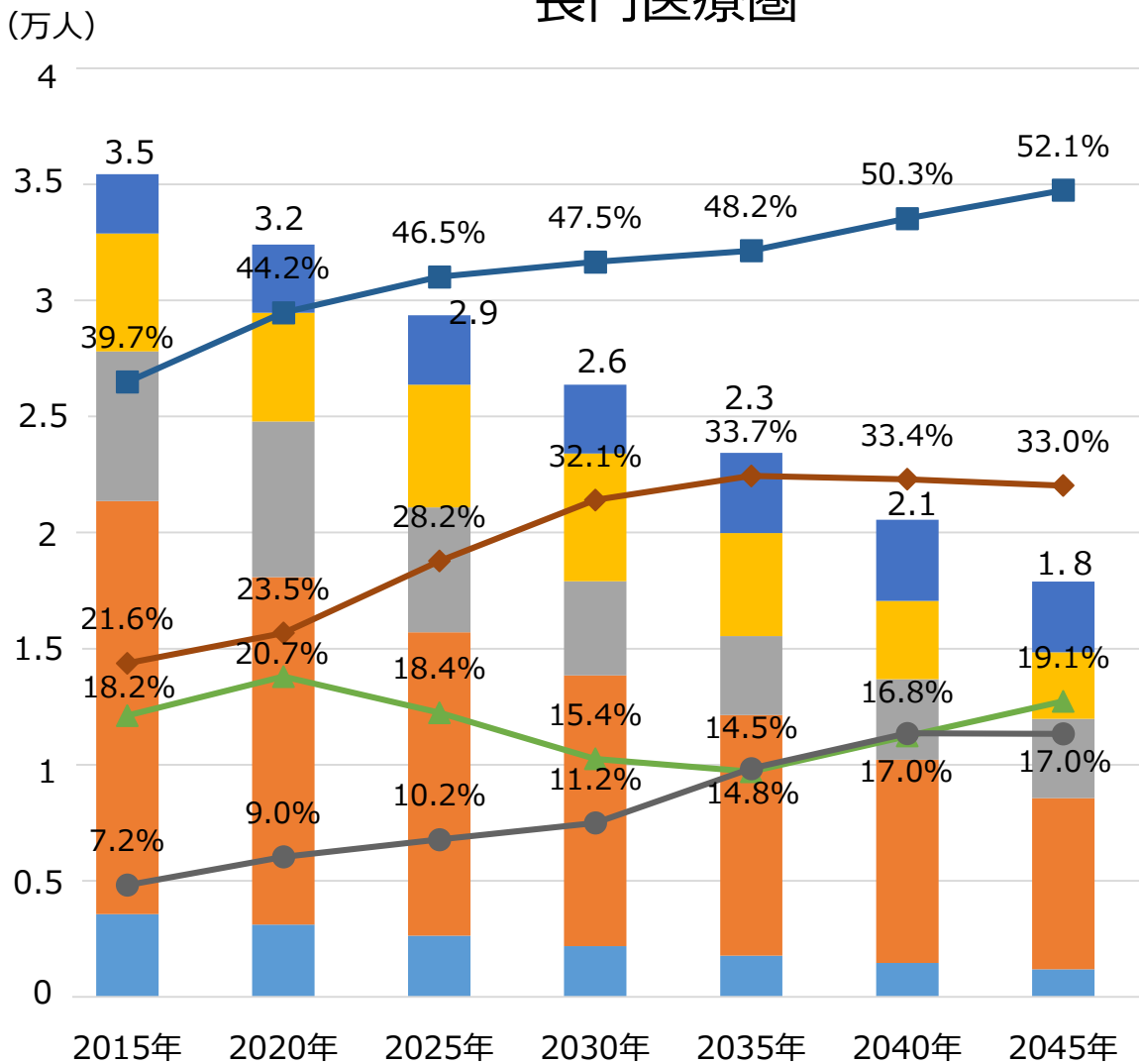


出所：社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

【医療圏別】将来推計人口

長門医療圏

萩医療圏



- 0~14歳
- 15~64歳
- 65~74歳
- 75~84歳
- 85歳以上
- 65歳以上人口割合
- 75歳以上人口割合
- 85歳以上人口割合

- 0~14歳
- 15~64歳
- 65~74歳
- 75~84歳
- 85歳以上
- 65歳以上人口割合
- 75歳以上人口割合
- 85歳以上人口割合

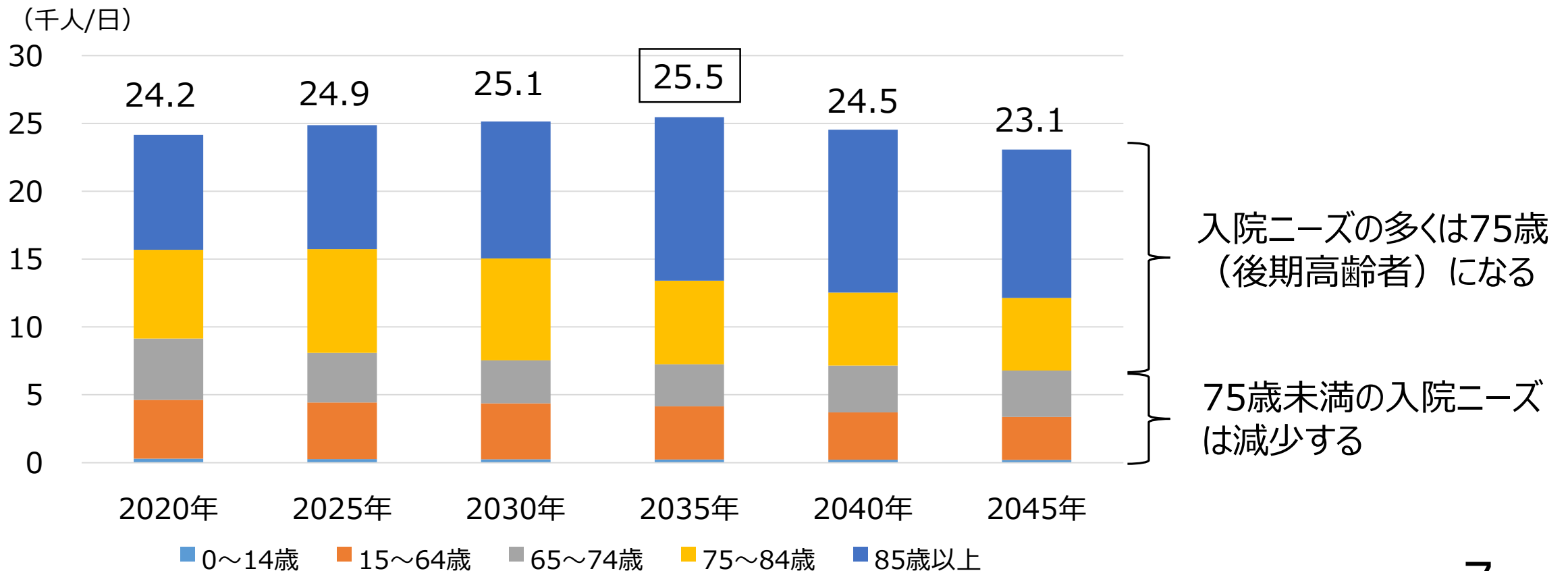
出所：社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

山口県の年齢階級別の推計入院患者数

○県全体の入院患者数は2035年にピークを迎えることが見込まれる。既に2020年には65歳以上が占める割合は8割を超えており、その後も継続的に上昇することが見込まれる。

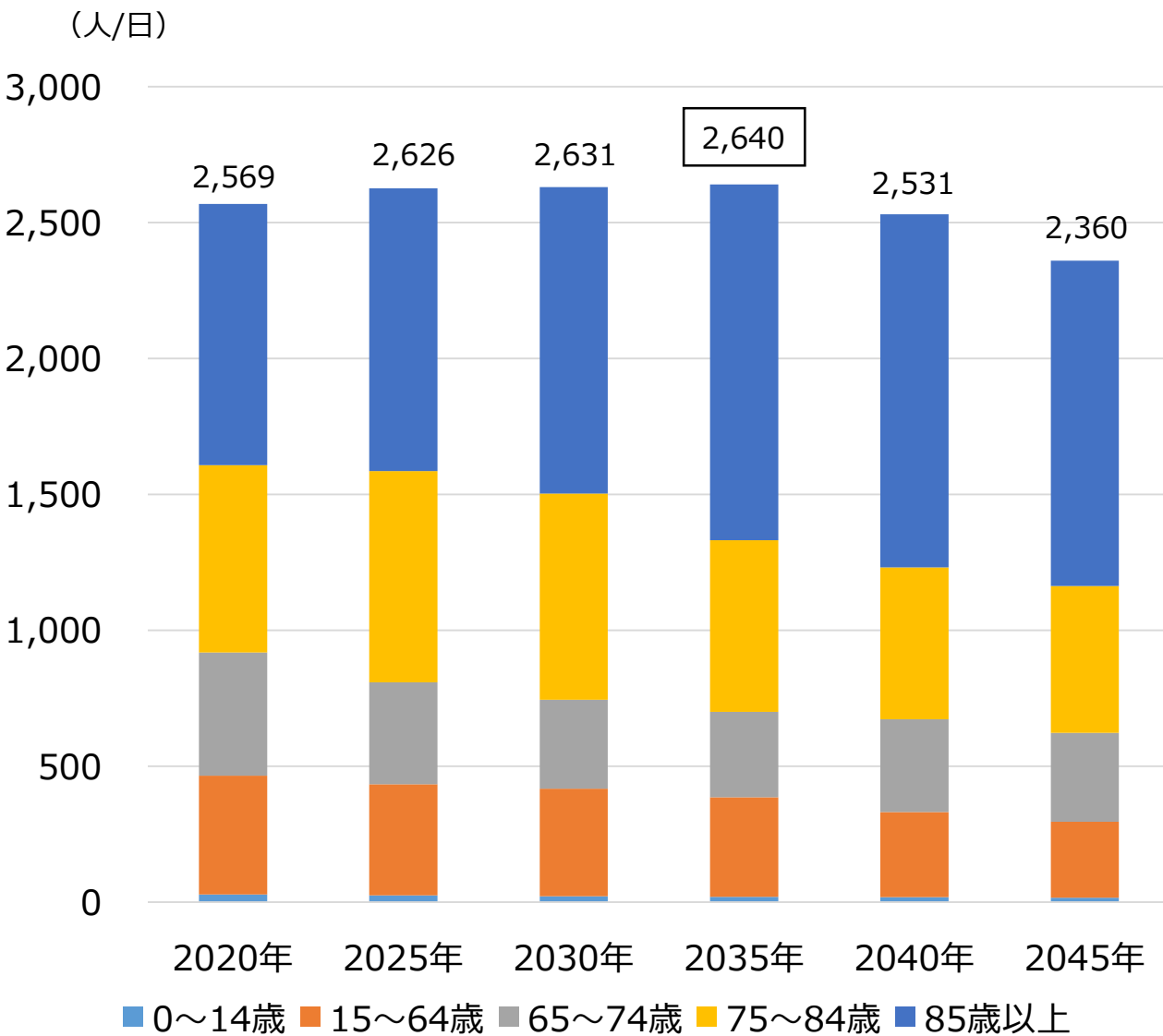
○75歳以上が占める割合も継続的に上昇し、2030年には7割を超えることが見込まれる。85歳以上が占める割合も2040年には約5割となるが見込まれる。

○二次医療圏によって入院患者数が最大となる年は様々であるが、既に2020年までに柳井、長門、萩が、2025年に下関が、2035年に岩国、周南、宇部・小野田が、2040年に山口・防府がピークを迎えることが見込まれる。

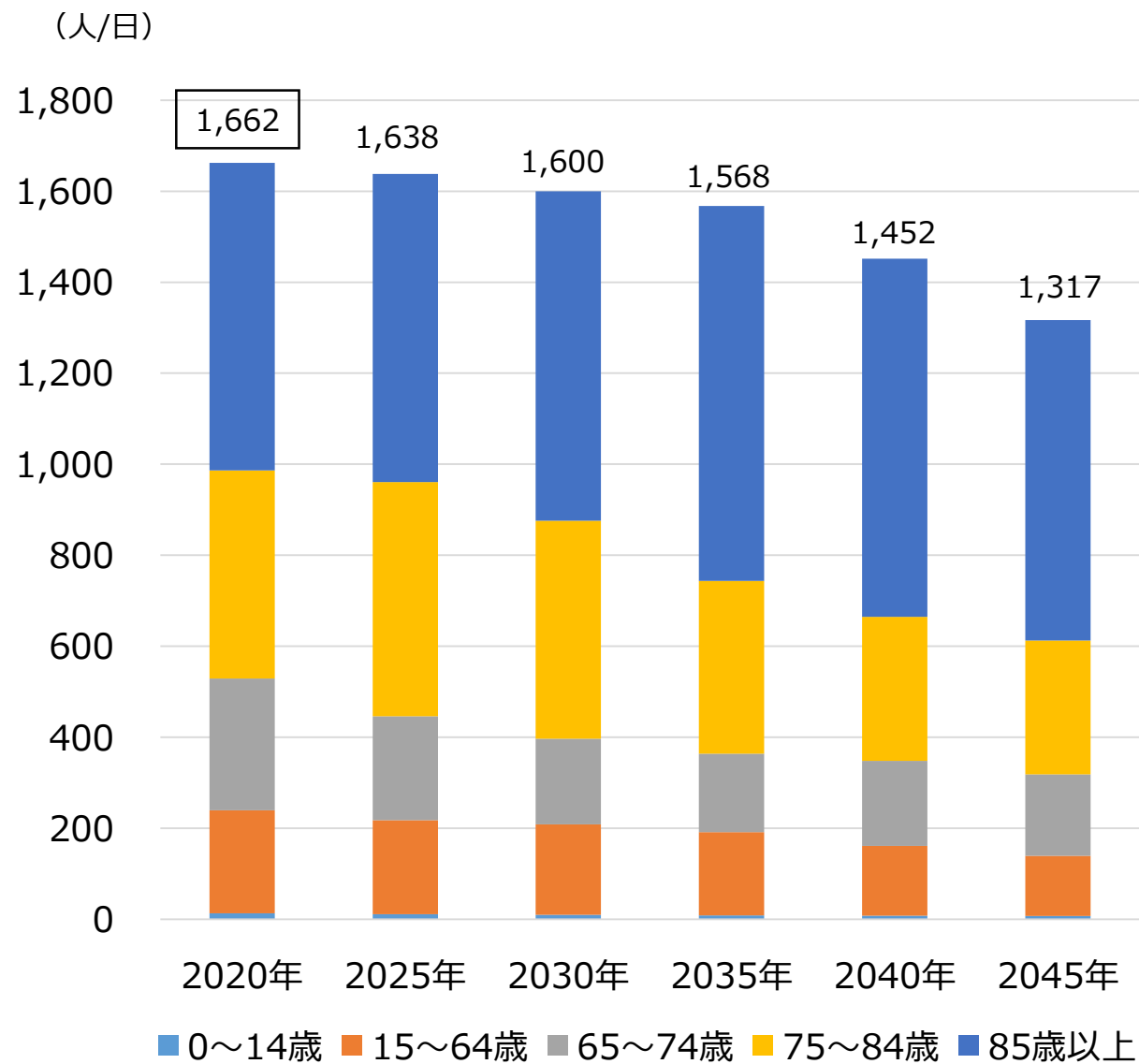


【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

岩国医療圏

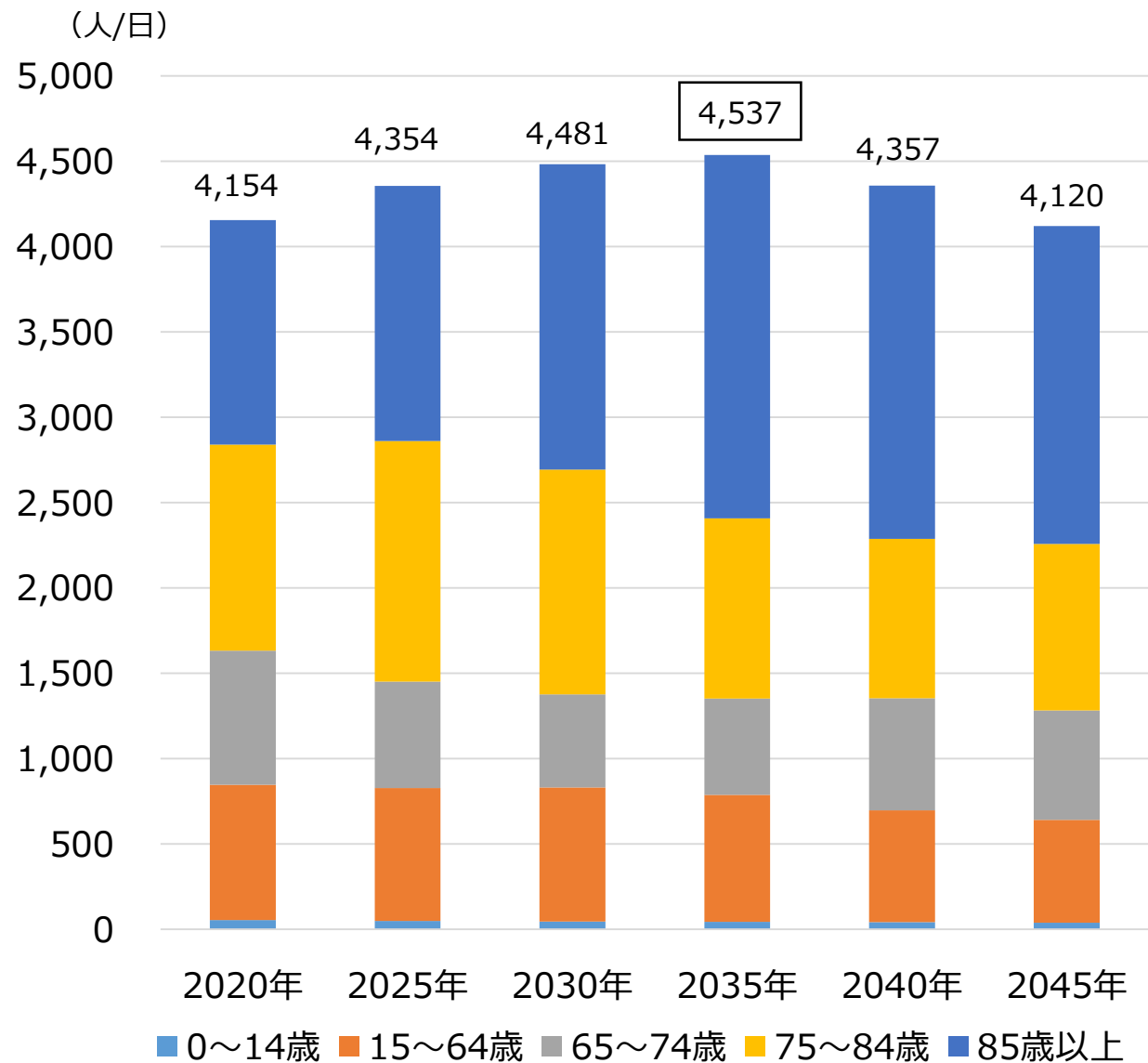


柳井医療圏

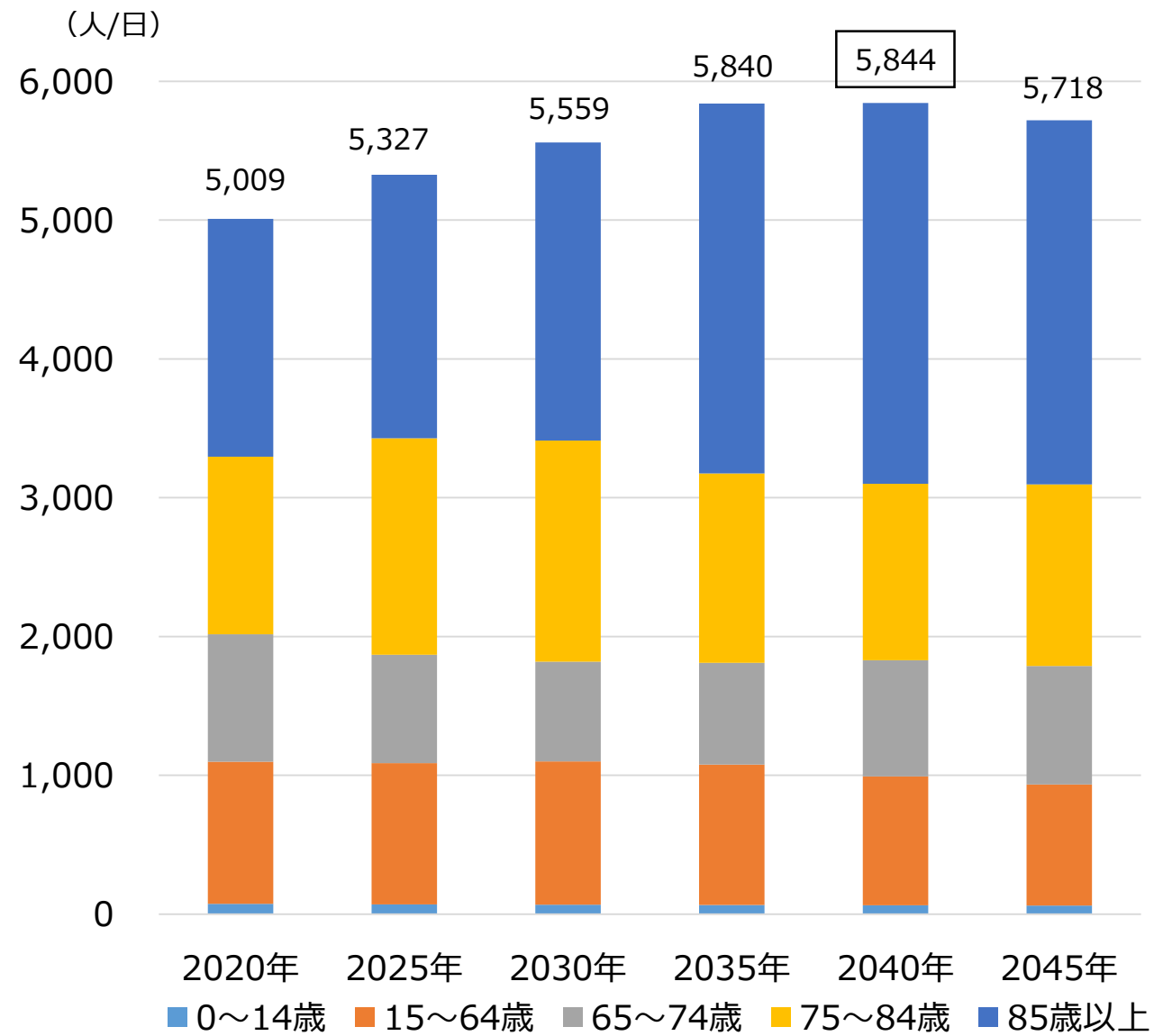


【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

周南医療圏

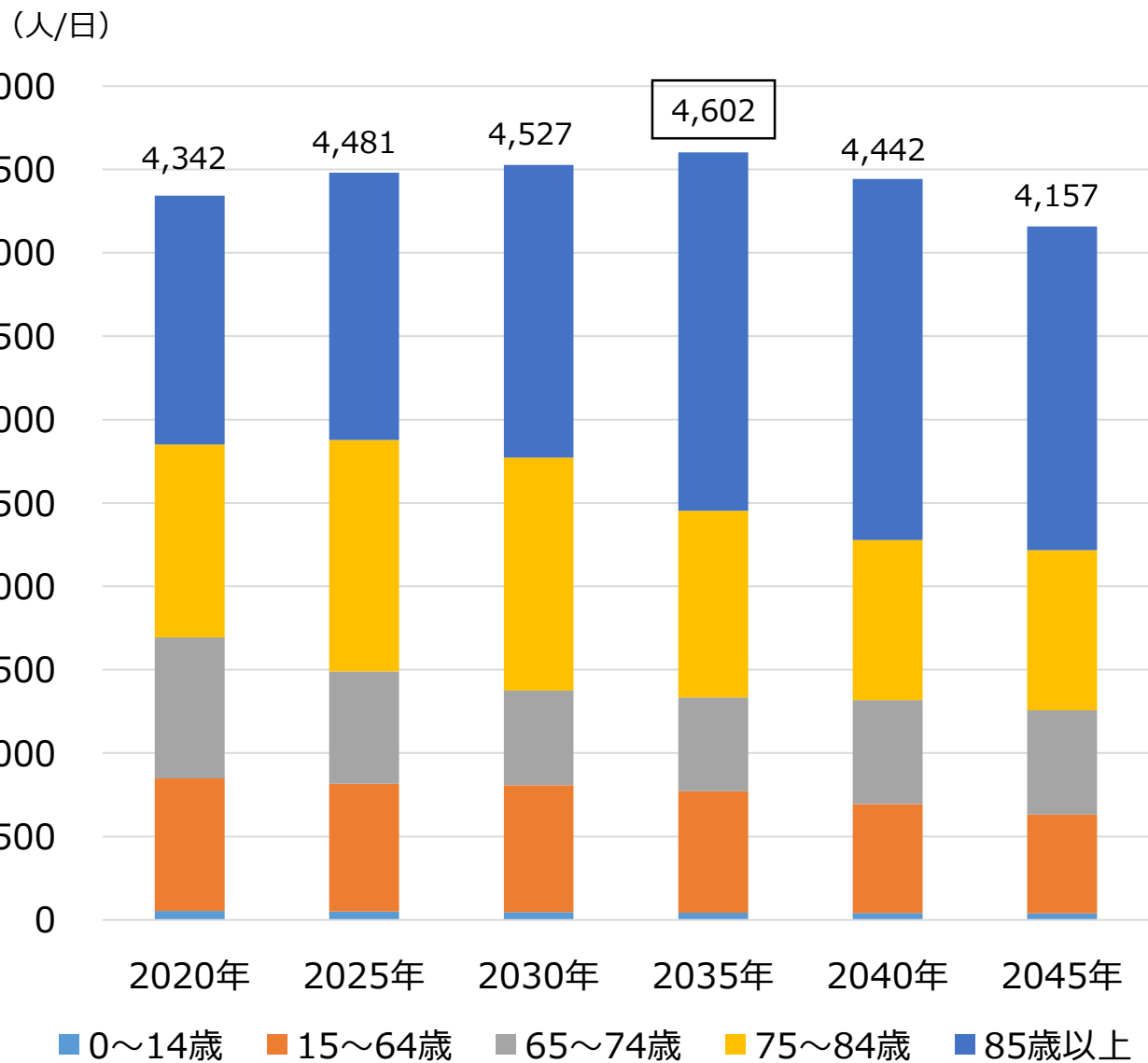


山口・防府医療圏

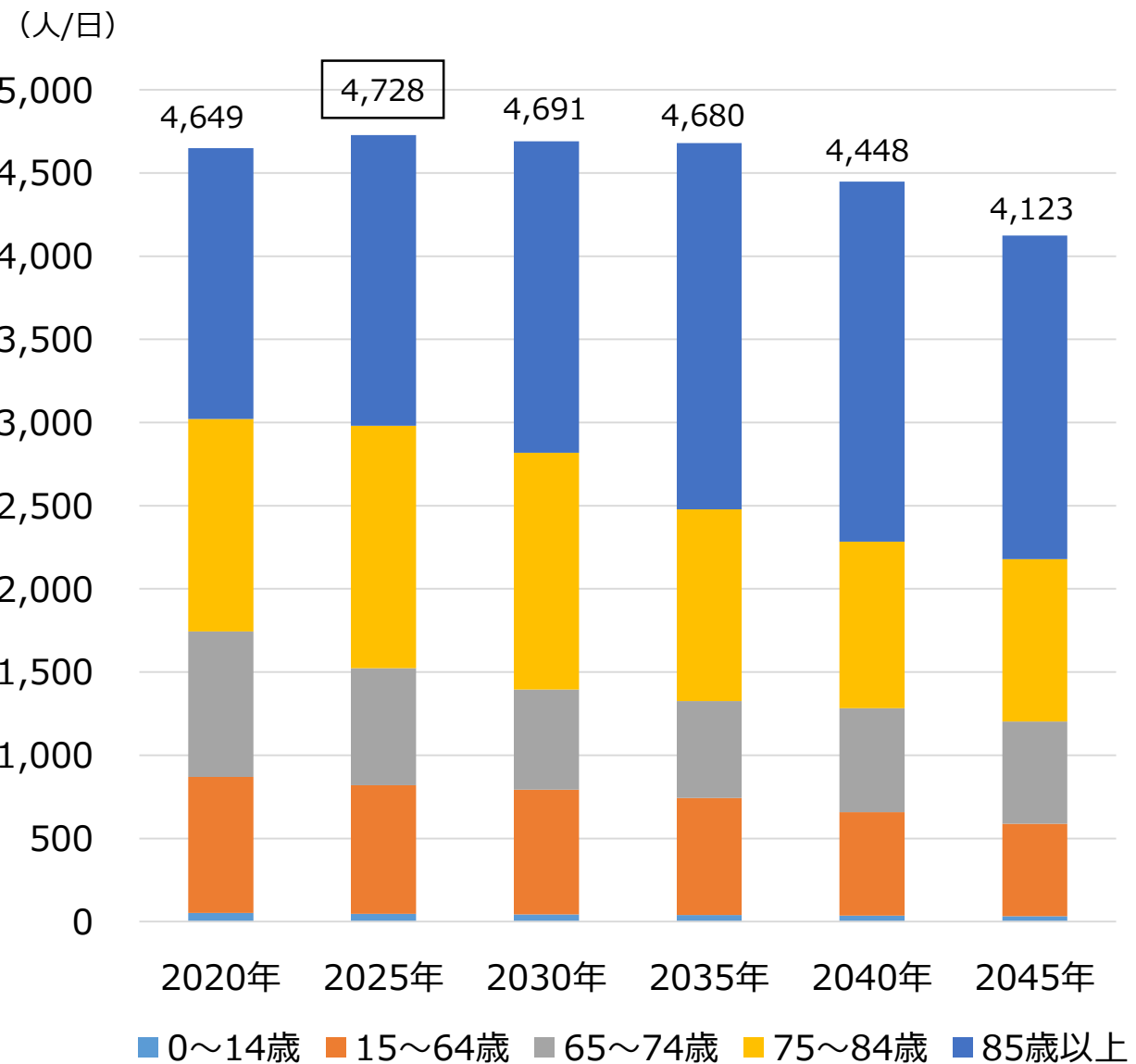


【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

宇部・小野田医療圏

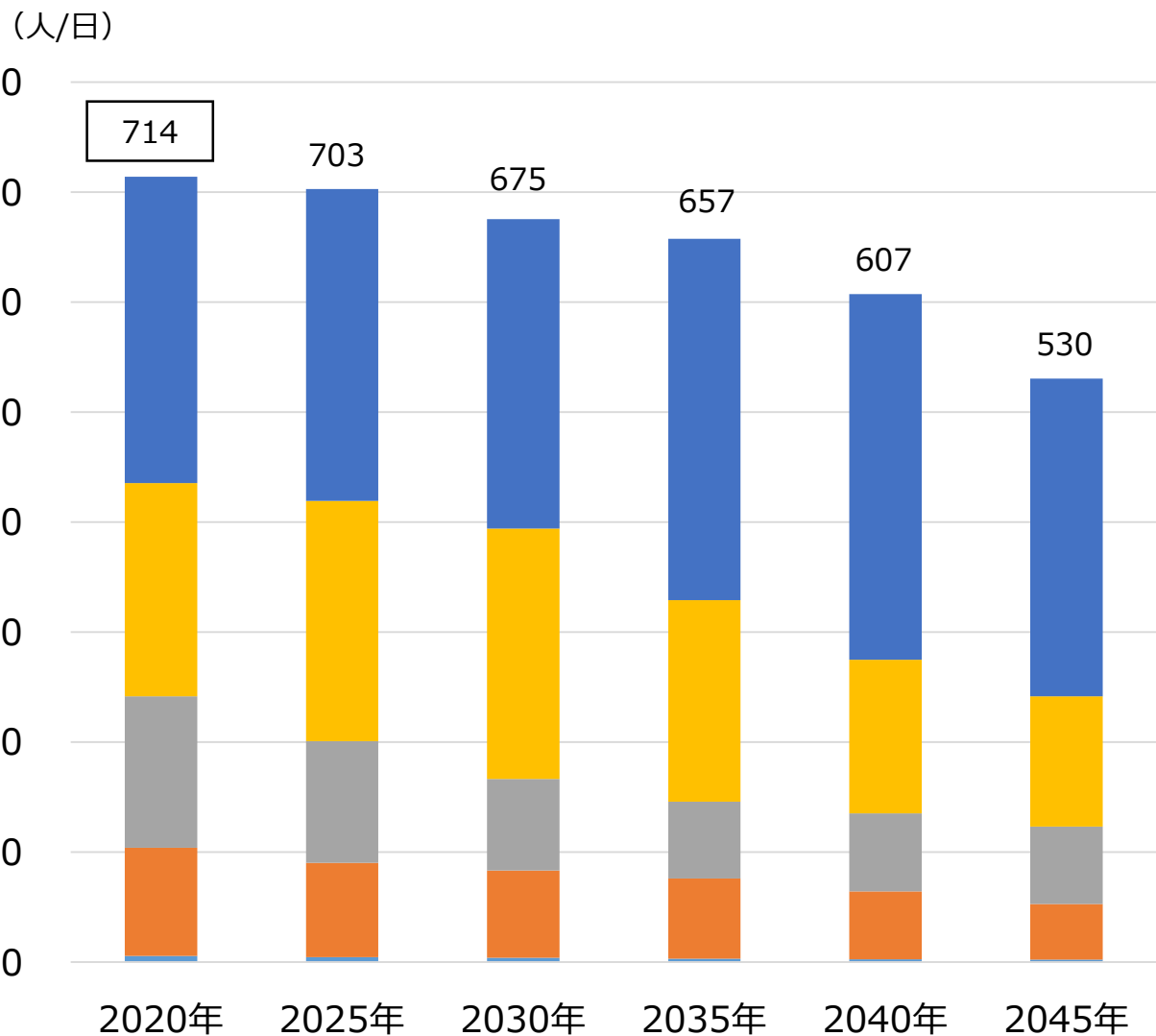


下関医療圏

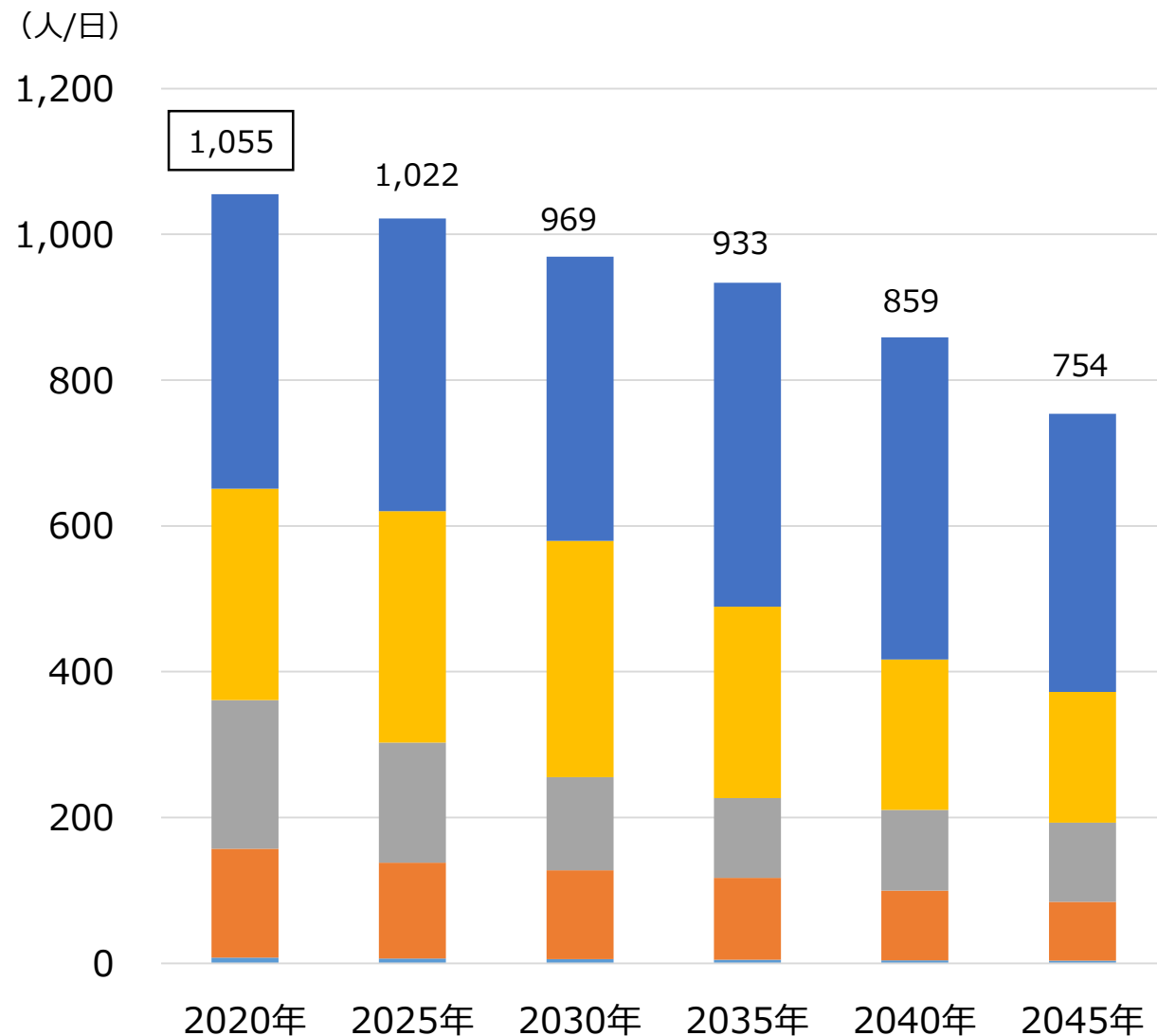


【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

長門医療圏



萩医療圏



■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65~74歳 ■ 75~84歳 ■ 85歳以上

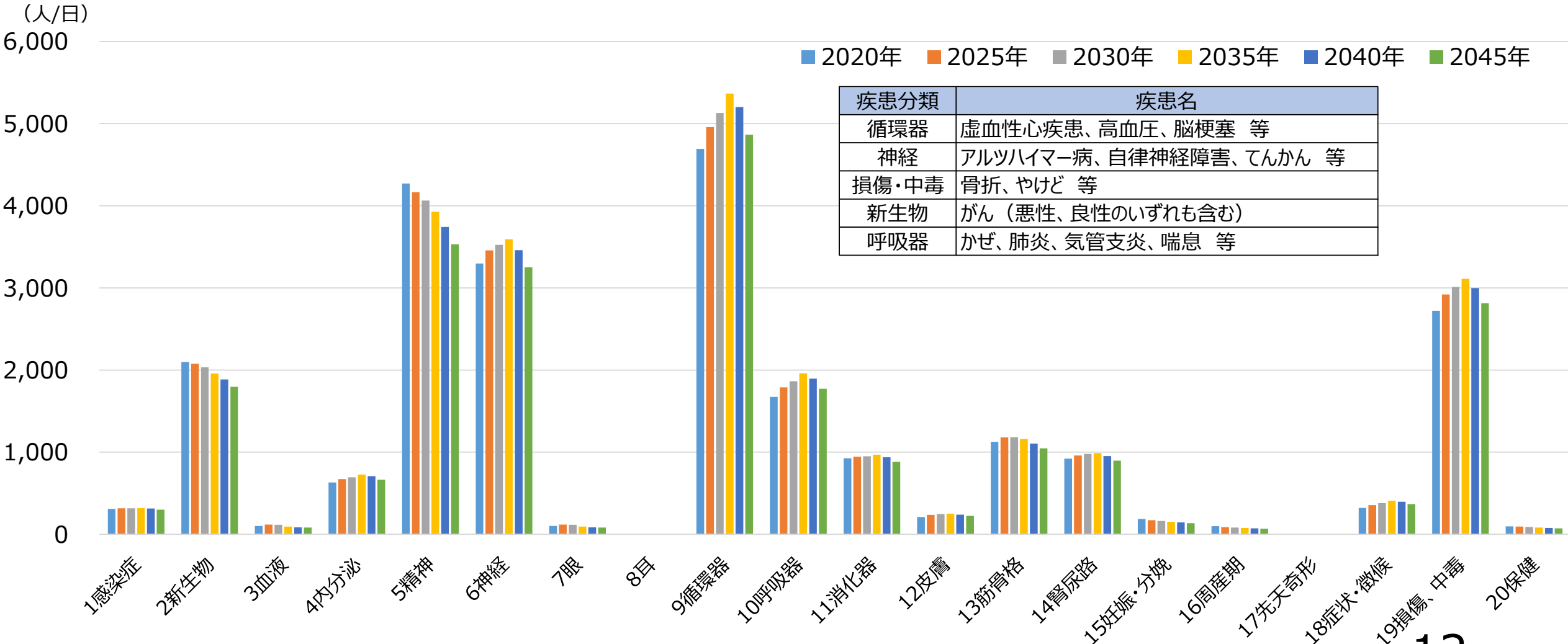
■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65~74歳 ■ 75~84歳 ■ 85歳以上

出所：平成29年患者調査（厚生労働省）下巻表番号10、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

山口県の傷病別入院患者数推計

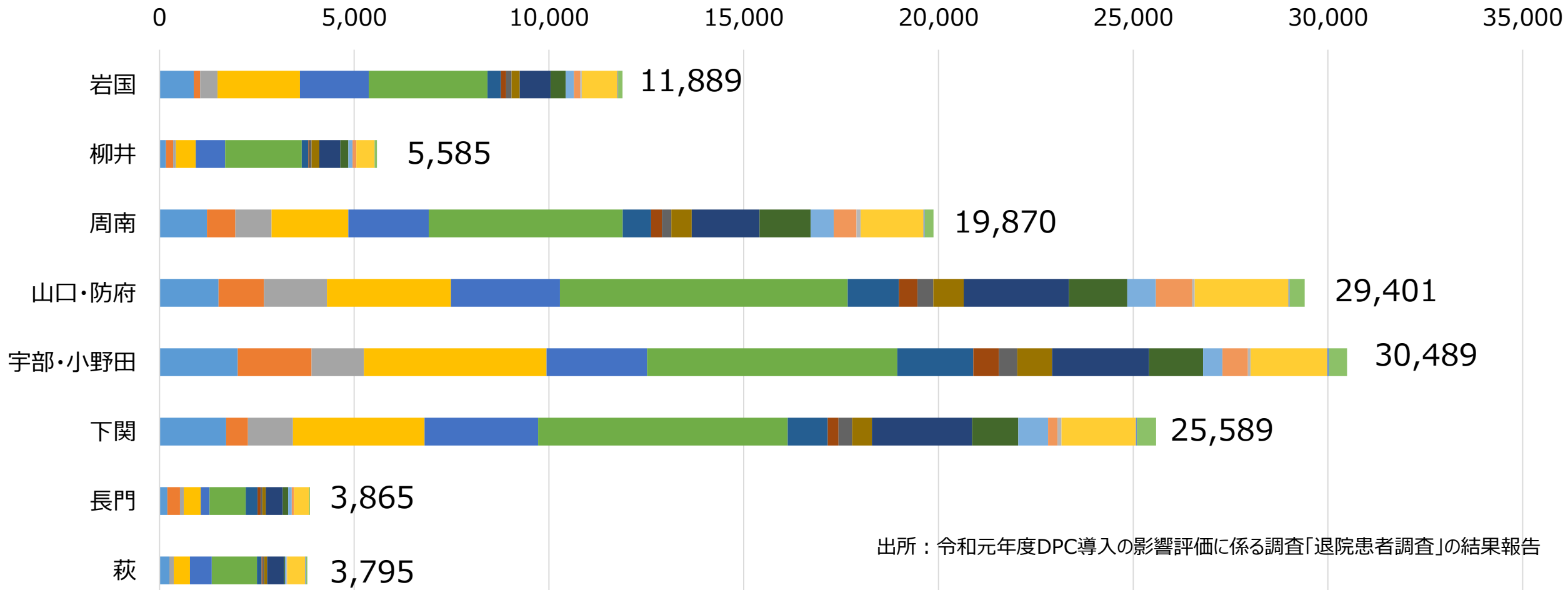
○後期高齢者の増加に伴い、「循環器」、「神経」、「損傷、中毒」、「呼吸器」などの入院患者数は、2035年をピークに増え、その後減少する。

○専門的な手術を要する「新生物」（がん）の入院患者数は、既にピークに達しており、一貫して減少する。



二次医療圏別 D P C 退院患者数

○全県的な高度・専門医療を行う医療機関がある宇部・小野田、山口・防府は、他圏域から患者が流入し、急性期患者が多い。
 ○脳血管疾患や呼吸器疾患などに対応する急性期機能が不足している柳井、長門、萩は、他圏域に患者が流出している。



出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

二次医療圏別 D P C 退院患者 主要診断群構成比

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

岩国

柳井

周南

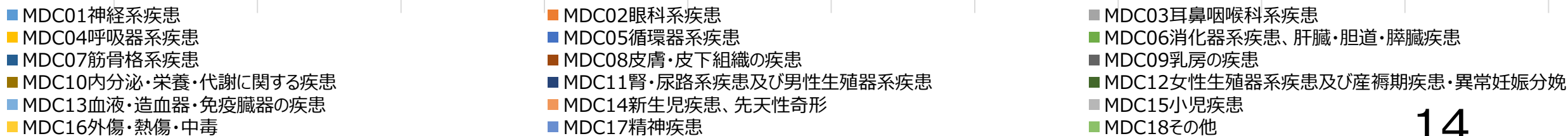
山口・防府

宇部・小野田

下関

長門

萩



出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

二次医療圏別 D P C退院患者数の主要診断群流出入

MDC	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩
01	15	-290	-120	-160	524	-159	-91	-170
02	-158	-80	-56	-150	451	-258	88	-165
03	-24	-193	26	17	173	-131	-70	-97
04	328	-472	-483	-636	1,455	-162	-119	-388
05	138	-331	-176	109	132	-231	-202	-164
06	-372	-354	-421	411	469	-286	-145	-613
07	-277	-159	-237	-72	455	-341	-47	-276
08	-50	-86	-59	-72	156	-96	-15	-70
09	-69	-23	-77	-19	-16	-14	-17	-47
10	-132	-51	-78	-88	77	-83	-21	-66
11	-228	-138	-72	31	232	-30	-40	-241
12	-355	-169	-117	-190	45	-252	-106	-175
13	-211	-85	-51	-42	-6	-49	-10	-92
14	-95	-68	86	55	95	-195	-26	-61
15	-7	-10	-7	-12	26	-9	-10	-2
16	-163	-101	-186	24	-24	-208	-17	-162
17	-5	-15	-23	-43	-29	-23	-	-8
18	-75	-42	-46	-74	13	-42	-35	15

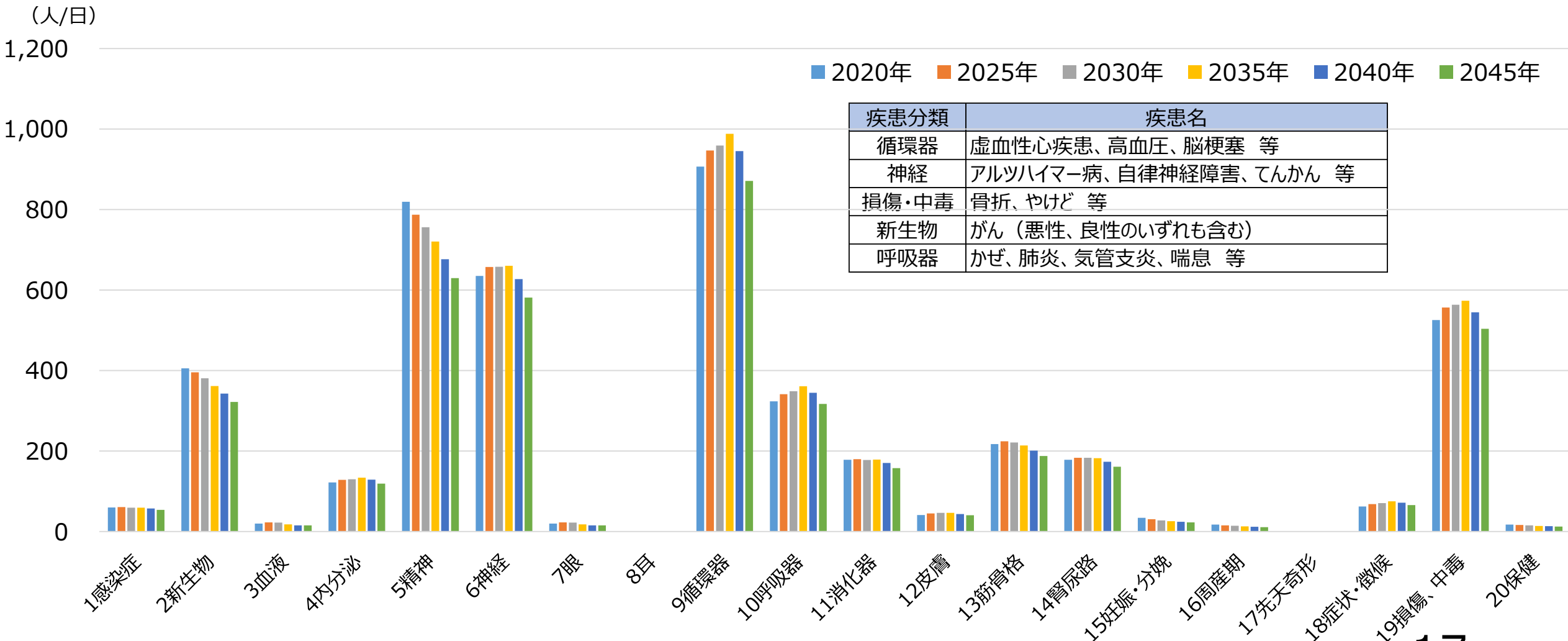
二次医療圏別 D P C退院患者数の主要診断群流出入 割合

MDC	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩
01	1.7%	-63.9%	-9.0%	-9.5%	35.3%	-8.5%	-31.2%	-40.4%
02	-48.8%	-29.7%	-7.1%	-11.4%	31.2%	-31.6%	37.3%	-100.0%
03	-5.1%	-72.8%	2.9%	1.1%	14.8%	-10.2%	-41.9%	-45.3%
04	18.3%	-48.4%	-19.7%	-16.6%	45.0%	-4.6%	-21.4%	-48.3%
05	8.5%	-30.4%	-7.9%	4.0%	5.4%	-7.3%	-47.3%	-22.7%
06	-10.9%	-15.3%	-7.8%	5.9%	7.9%	-4.3%	-13.5%	-34.6%
07	-44.9%	-48.5%	-24.6%	-5.2%	30.4%	-24.9%	-13.5%	-69.9%
08	-27.0%	-74.8%	-17.5%	-13.1%	31.2%	-25.5%	-16.3%	-70.0%
09	-33.0%	-29.1%	-24.1%	-4.5%	-3.3%	-3.9%	-27.4%	-57.3%
10	-38.6%	-20.5%	-12.9%	-10.1%	9.4%	-14.0%	-19.1%	-45.2%
11	-22.3%	-20.3%	-4.0%	1.2%	10.3%	-1.2%	-8.4%	-35.5%
12	-47.7%	-45.7%	-8.2%	-11.2%	3.3%	-17.5%	-43.6%	-89.7%
13	-50.4%	-43.1%	-8.0%	-5.4%	-1.2%	-6.0%	-9.3%	-72.4%
14	-36.3%	-41.5%	17.1%	6.3%	17.0%	-44.7%	-32.1%	-100.0%
15	-17.5%	-100.0%	-6.1%	-17.1%	55.3%	-8.0%	-100.0%	-9.5%
16	-15.0%	-17.8%	-10.3%	1.0%	-1.2%	-9.8%	-4.2%	-25.8%
17	-29.4%	-100.0%	-43.4%	-56.6%	-36.3%	-48.9%	-	-30.8%
18	-39.3%	-39.3%	-17.2%	-16.2%	2.9%	-7.8%	-60.3%	16 -52.7%

下関医療圏の傷病別入院患者数推計

○後期高齢者の増加に伴い、「循環器」、「神経」、「損傷、中毒」、「呼吸器」などの入院患者数は、2035年をピークに増え、その後減少する。

○専門的な手術を要する「新生物」（がん）の入院患者数は、既にピークに達しており、一貫して減少する。



【下関医療圏】 悪性新生物（がん）

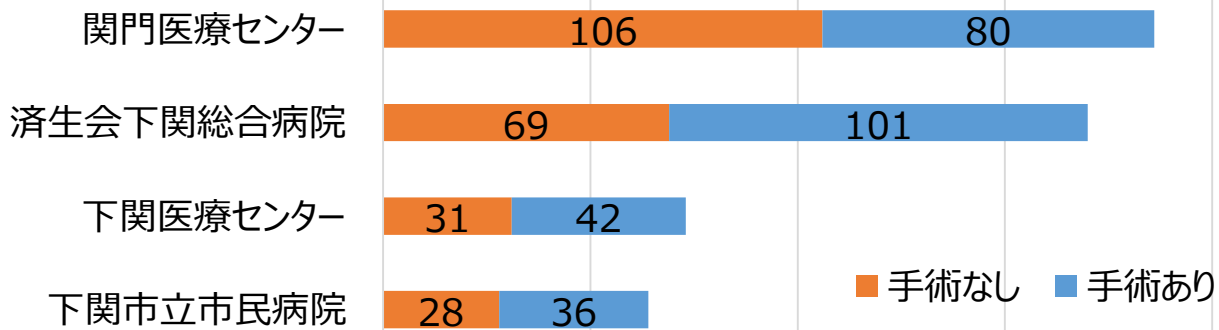
○入院患者数は2020年に既にピークに達しており、2045年には2020年の80.8%に減少すると推計される。

現 状

■ がんの診療実績（令和元年度DPC調査）

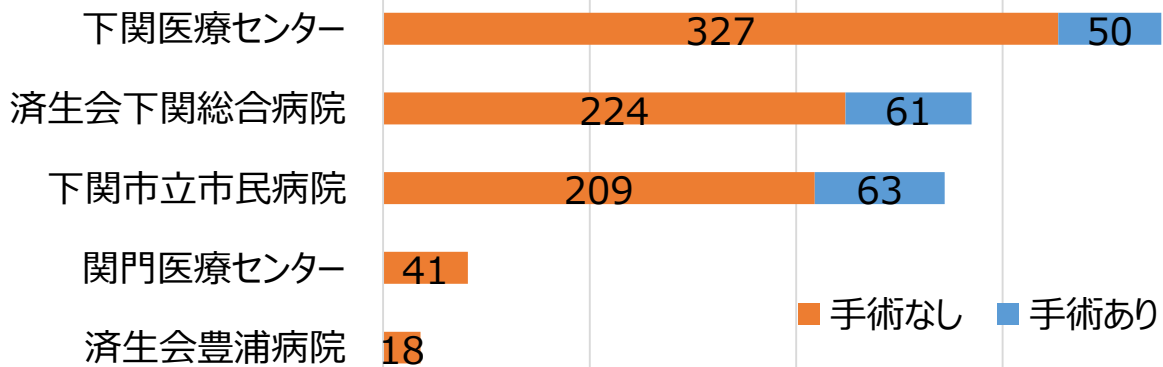
● 胃がん

0 50 100 150 200



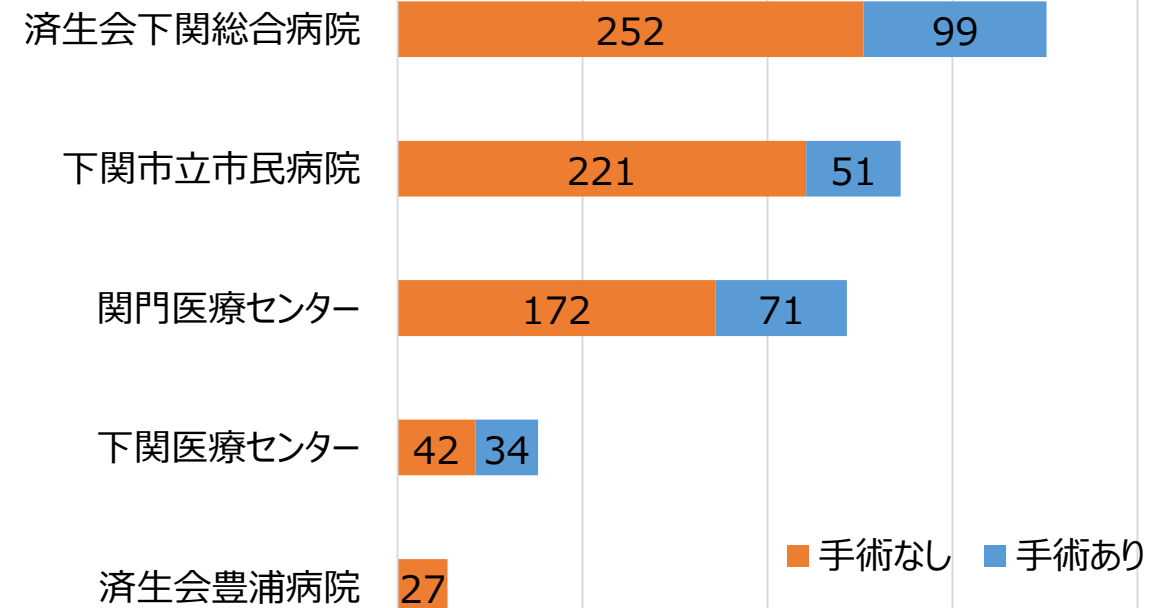
● 肺がん

0 100 200 300 400



● 結腸がん

0 100 200 300 400



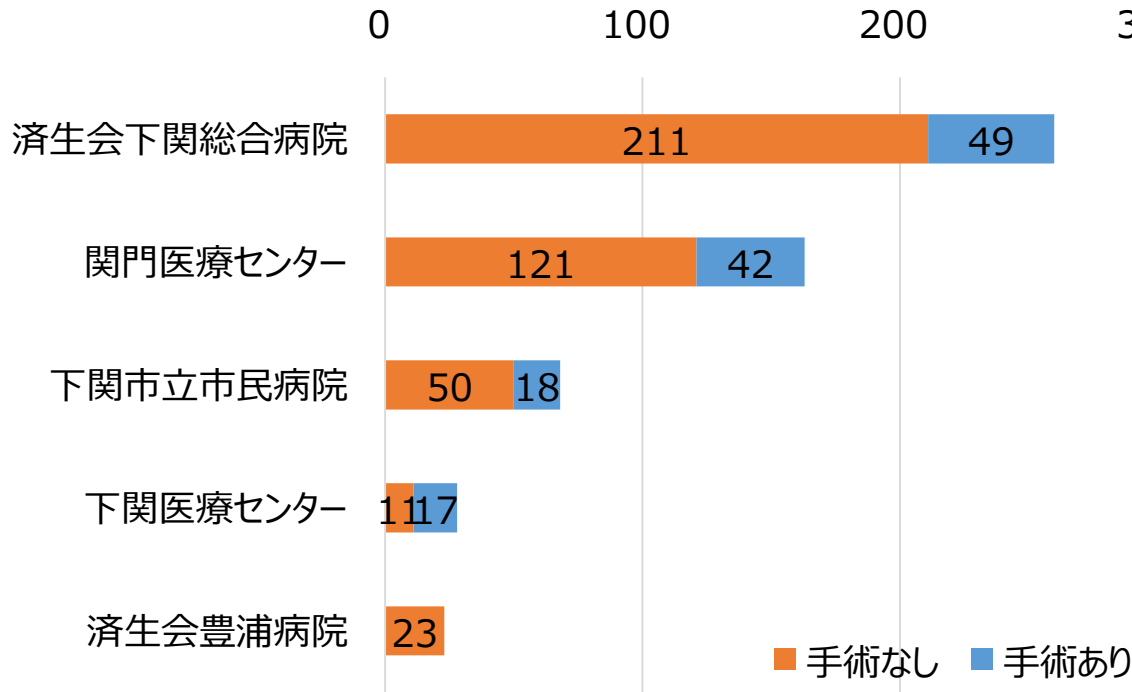
【下関医療圏】 悪性新生物（がん）

○入院患者数は2020年に既にピークに達しており、2045年には2020年の80.8%に減少すると推計される。

現状

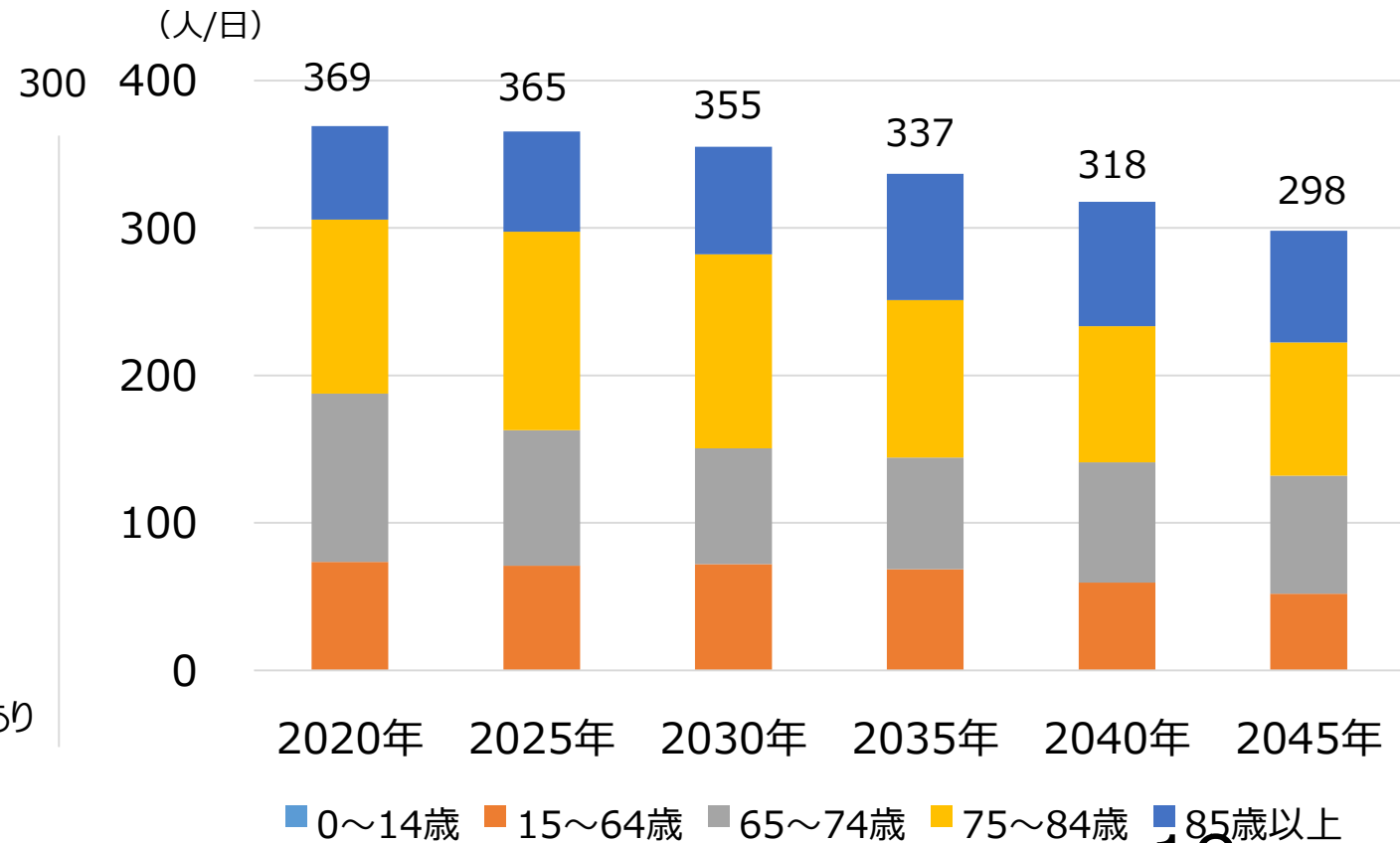
■ がんの診療実績（令和元年度DPC調査）

● 直腸がん



将来の医療需要（入院患者数推計）

■ 悪性新生物（がん）



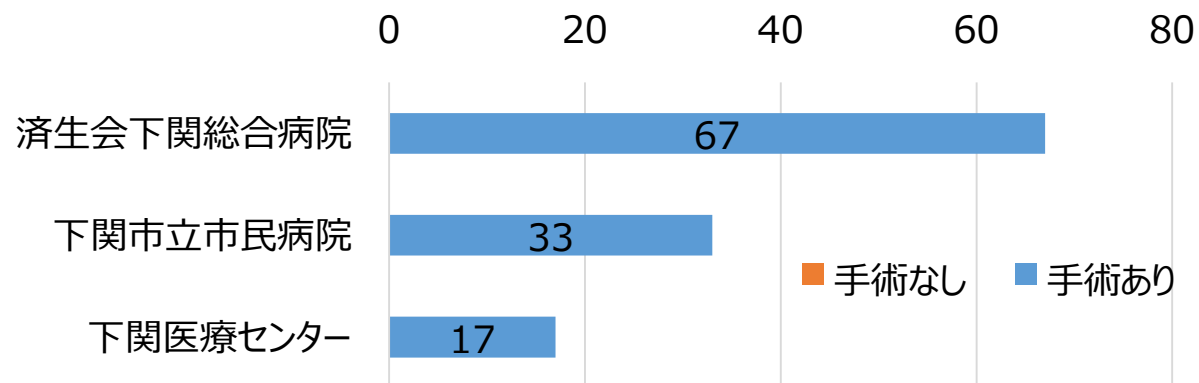
【下関医療圏】心疾患

○入院患者数は2035年にピークになり、2045年には2020年の103.7%に増加すると推計される。

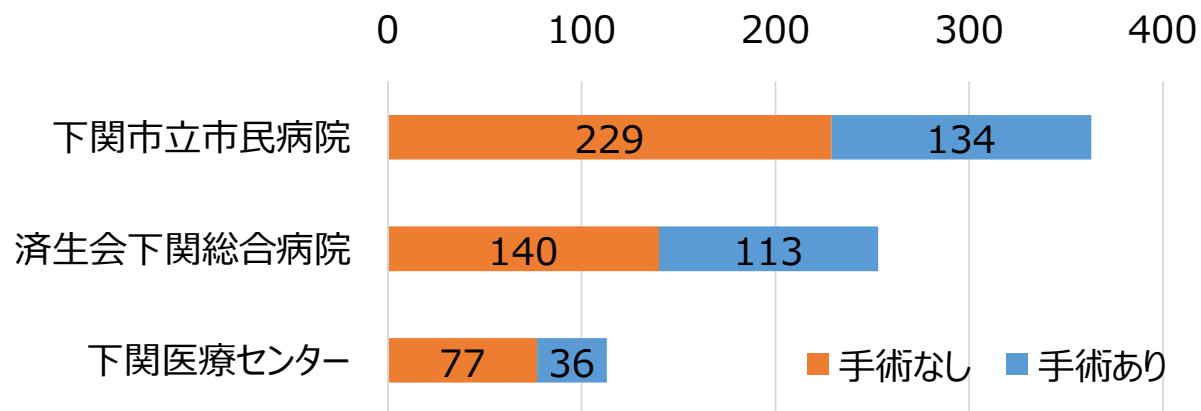
現状

■心疾患の診療実績（令和元年度DPC調査）

●急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞



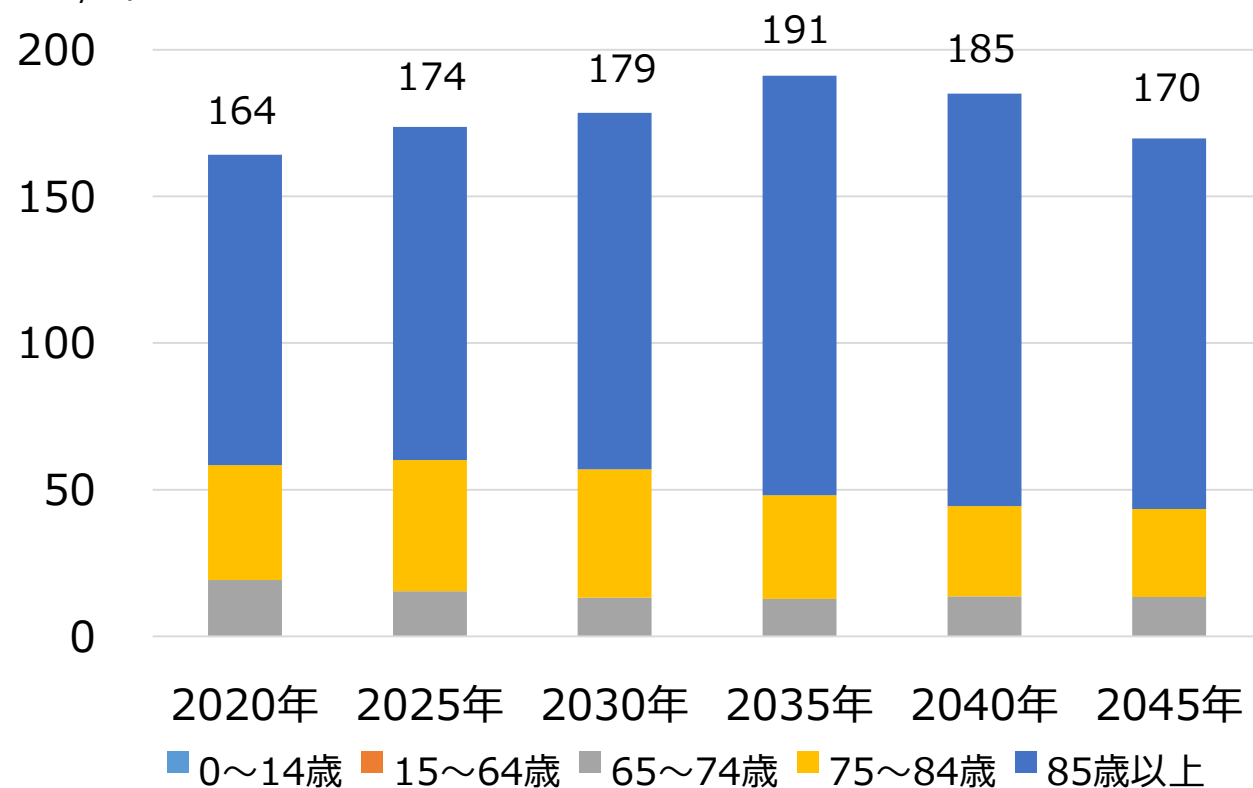
●狭心症、慢性虚血性心疾患



将来の医療需要（入院患者数推計）

■心疾患（虚血性心疾患、その他の心疾患）

(人/日)



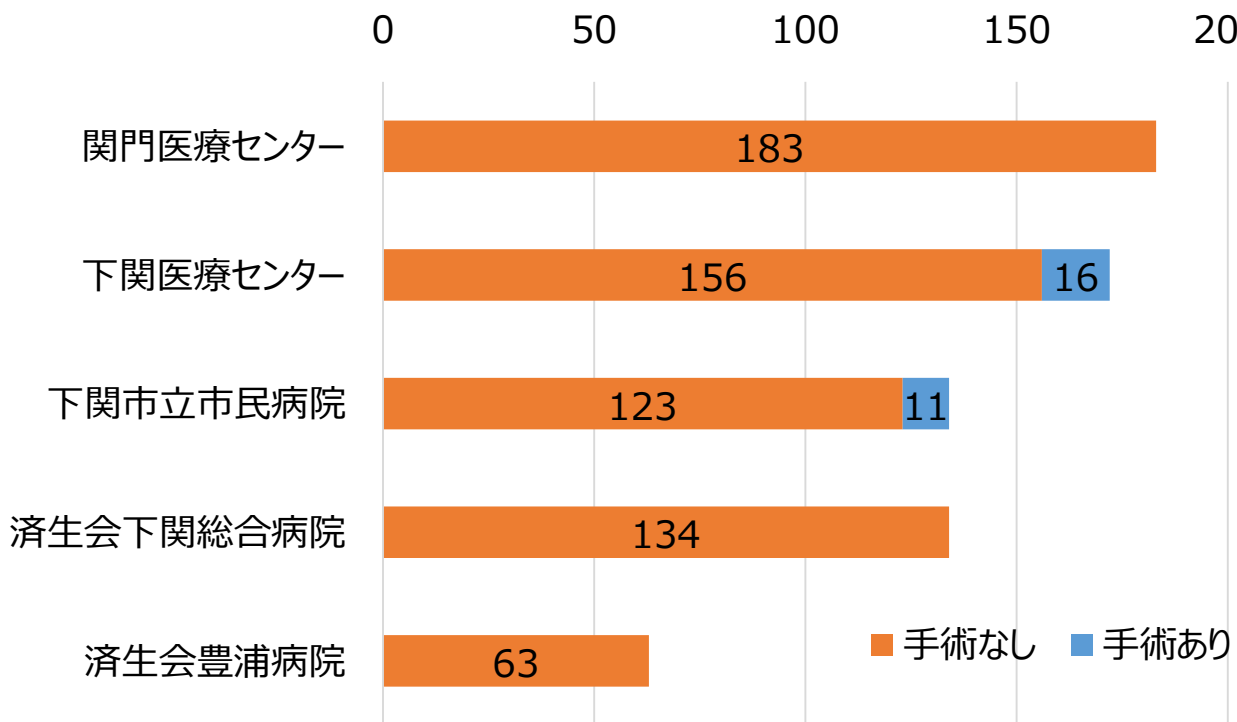
出所：平成29年患者調査（厚生労働省）閲覧表番号117-2、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

【下関医療圏】 脳梗塞

○入院患者数は2035年にピークになるが、2045年には2020年の98.8%に減少すると推計される。

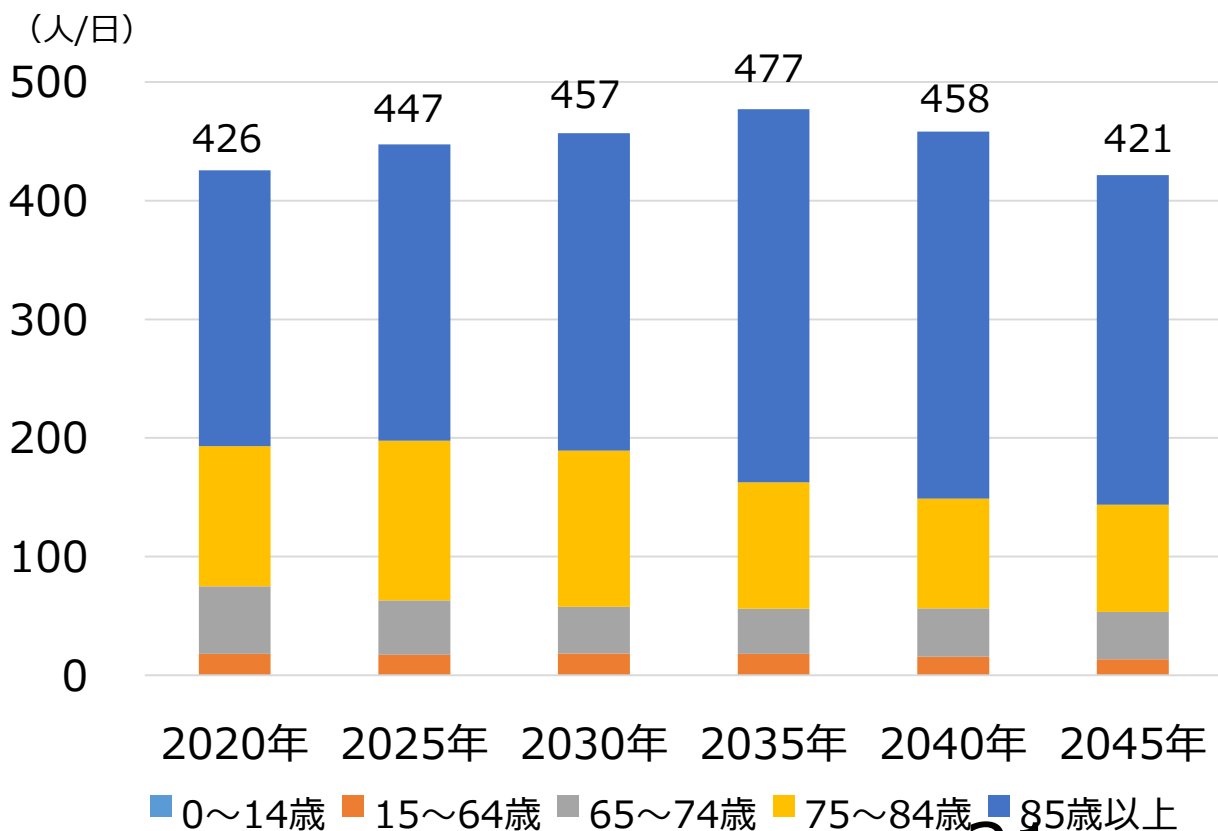
現 状

■ 脳梗塞の診療実績（令和元年度DPC調査）



将来の医療需要（入院患者数推計）

■ 脳梗塞



【下関医療圏】 救急医療

○救急車の受入件数の26.9%が済生会下関総合病院、25.3%が関門医療センター、20.3%が下関市立市民病院、18.2%が下関医療センターであり、地域の救急受入主要機関として機能している。

現 状

■ 病院群輪番制病院 (R4.5)

〈4病院〉

関門医療センター、済生会下関総合病院、
下関市立市民病院、下関医療センター

■ 救急告示病院・診療所 (R4.5)

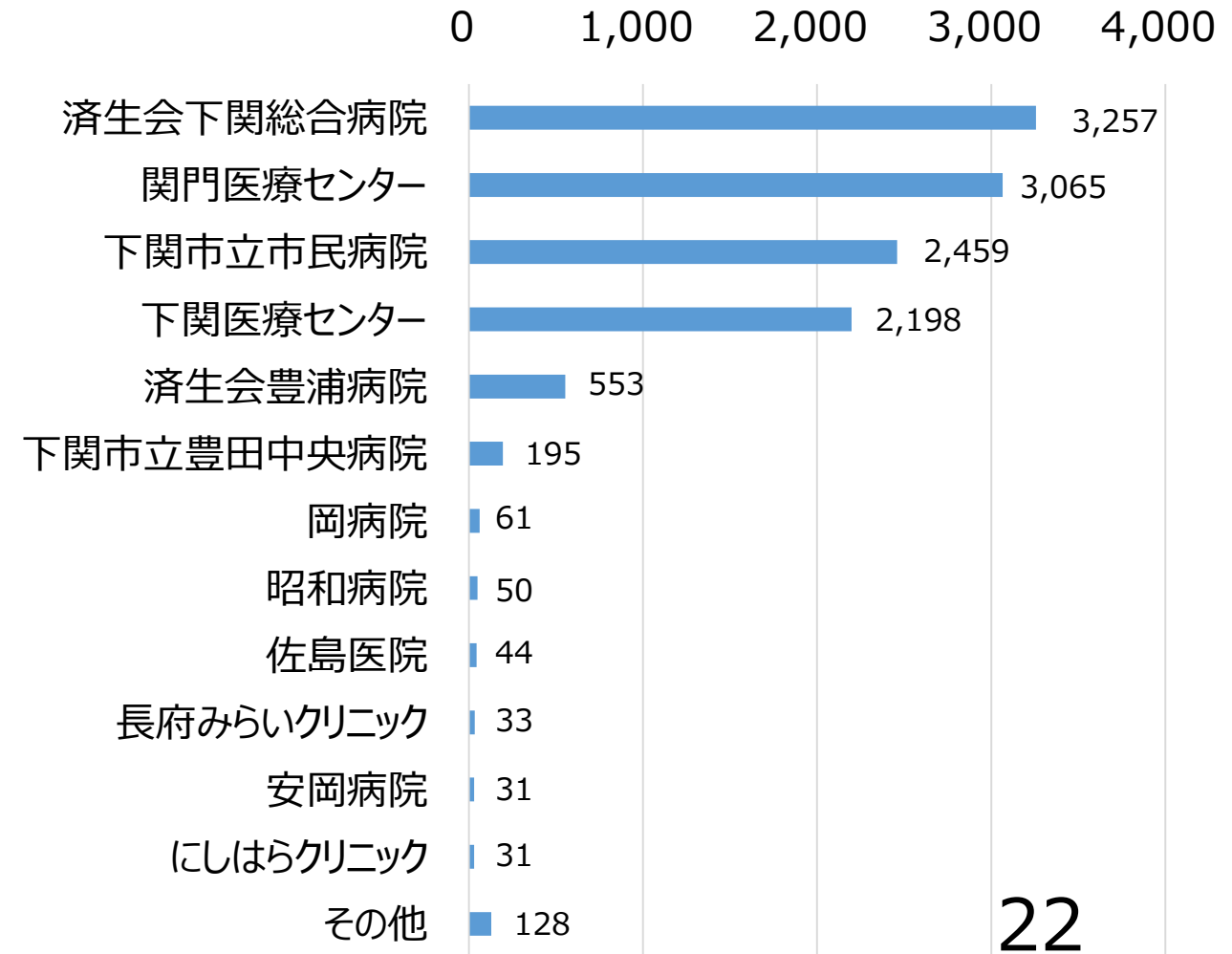
〈10病院〉

関門医療センター、済生会下関総合病院、下関市立市民病院、
下関医療センター、岡病院、済生会豊浦病院、下関市立豊田中央病院
光風園病院、長府病院、安岡病院

■ 救命救急センター (R4.5)

関門医療センター

■ 救急車の受入件数 (R2病床機能報告)



【下関医療圏】 周産期医療

○出生数は減少（H28-R2比較81.9%）しており、出生数の10%程度が低出生体重児である。

○入院患者数は2045年には2020年の67.6%に減少すると推計される。

現 状

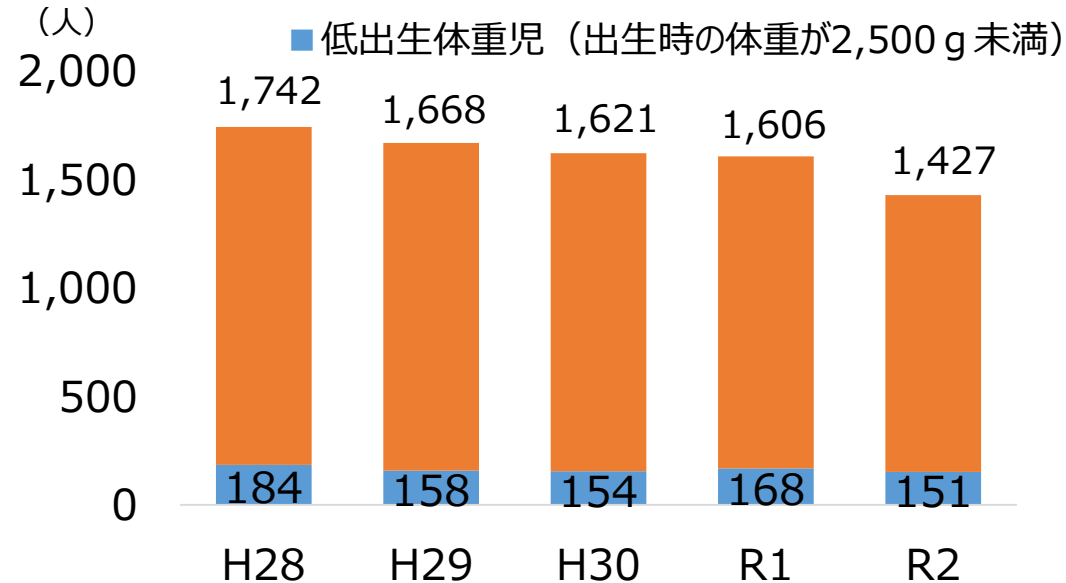
■ 分娩の状況（R2病床機能報告）

済生会下関総合病院：38件、やかべ産婦人科医院：12件、
藤野産婦人科医院：34件、井町産婦人科医院：13件、
野口産婦人科医院：17件

※R2.6の件数。正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く

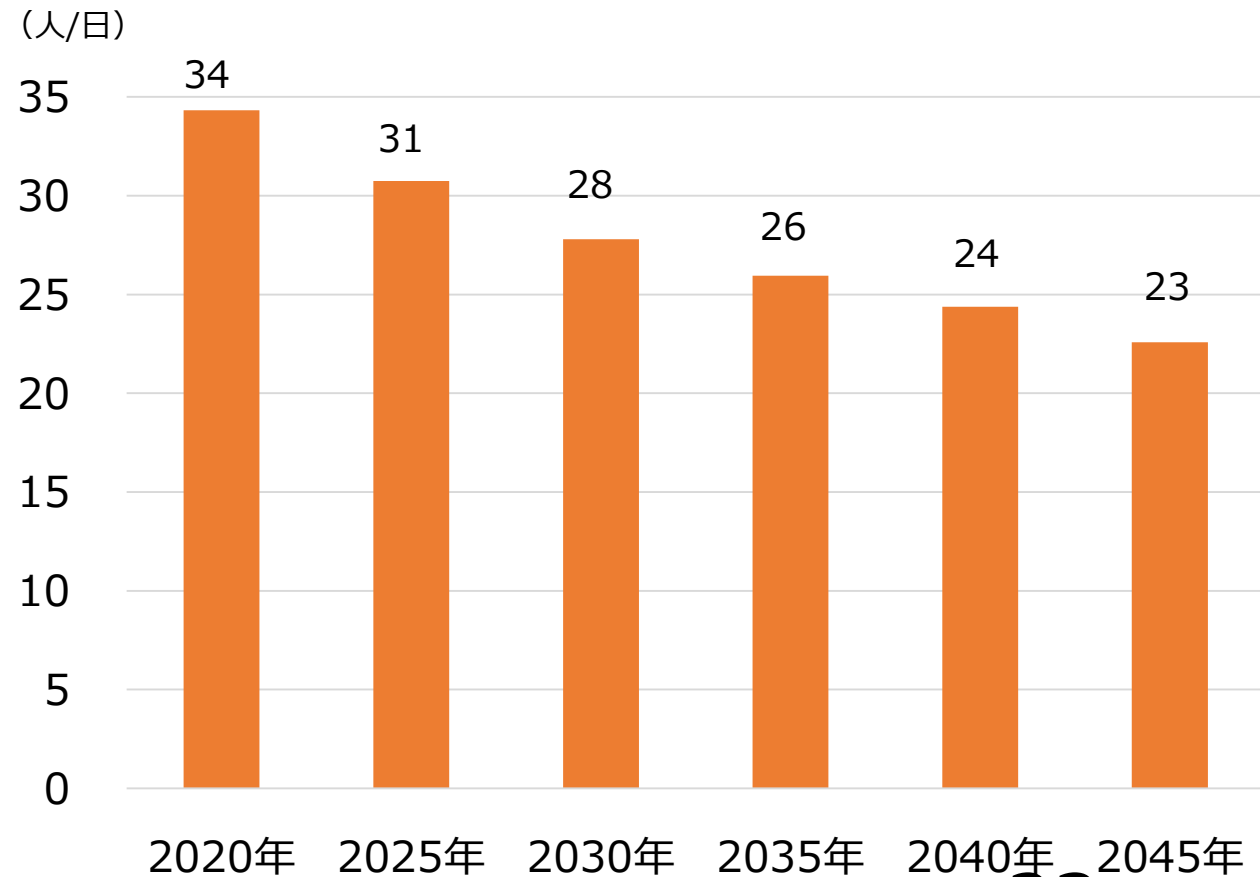
※地域周産期母子医療センター：済生会下関総合病院

■ 出生数の推移（山口県保健統計年報H28-R2）



将来の医療需要（入院患者数推計）

■ 妊娠、分娩及び産じょく



【全医療圏】小児医療

○小児医療圏ごとに小児医療を中核的に担う医療機関によって、小児の専門医療や24時間体制での小児救急を実施している。

○高度小児専門医療や救命救急医療については、圏域を越えて、対応可能な医療機関で必要な医療を提供している。

現状

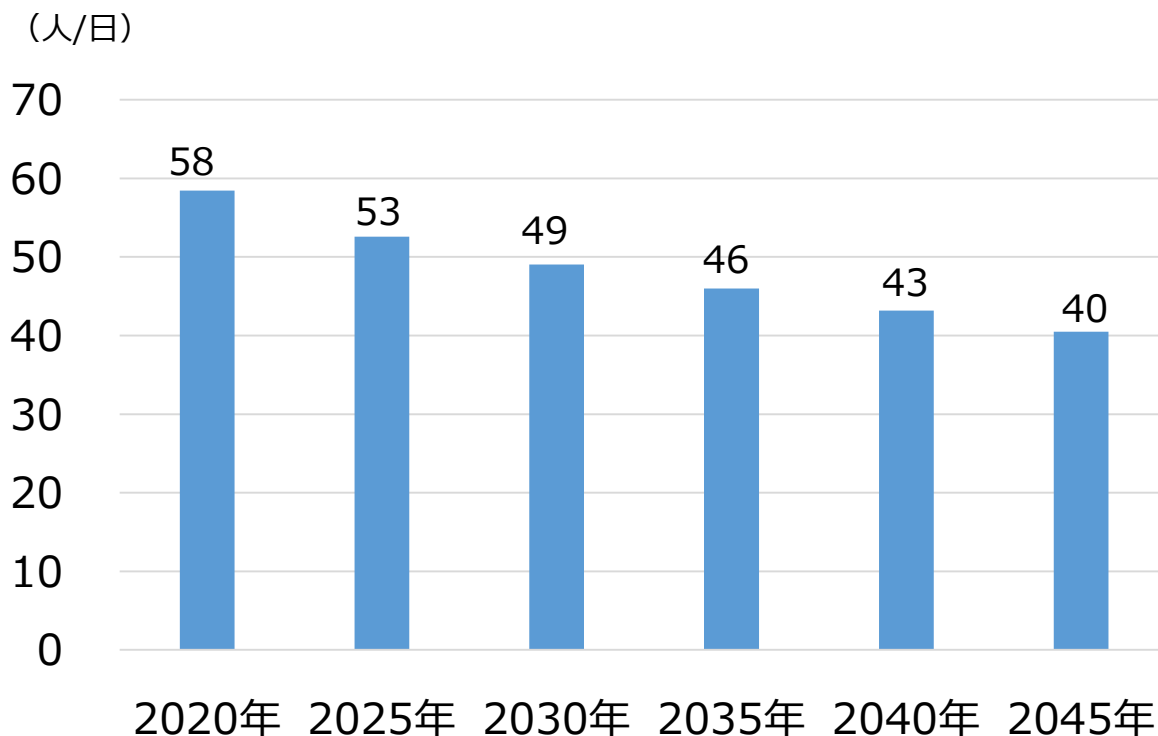
※小児医療圏:岩国、柳井・周南、山口・防府・萩、宇部・小野田、下関・長門

■医療機関の状況 (R4.5.1届出時点)

圏域	届出	医療機関
岩国	新生児特定集中治療室管理料 2	岩国医療センター
	小児入院医療管理料 4	
柳井	小児入院医療管理料 5	周東総合病院
周南	新生児特定集中治療室管理料 1	徳山中央病院
	小児入院医療管理料 3	
山口・防府	新生児特定集中治療室管理料 1	山口県立総合医療センター
	新生児特定集中治療室管理料 2	山口赤十字病院
	新生児治療回復室入院医療管理料	山口県立総合医療センター
		山口赤十字病院
	小児入院医療管理料 4	山口県立総合医療センター 山口赤十字病院
小児入院医療管理料 5	小郡第一総合病院	
宇部・小野田	新生児治療回復室入院医療管理料	山口大学医学部附属病院
	小児入院医療管理料 2	
下関	新生児特定集中治療室管理料 2	済生会下関総合病院
	新生児治療回復室入院医療管理料	
	小児入院医療管理料 4	下関市立市民病院
	小児入院医療管理料 5	

将来の医療需要 (入院患者数推計)

■呼吸器系の疾患 (15歳未満)



出所：平成29年患者調査（厚生労働省）閲覧表番号127、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

参考資料

下関医療圏

【下関】常勤換算医師数

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0

済生会下関総合病院 83.1

下関市立市民病院 72.7

関門医療センター 54.5

下関医療センター 44.0

昭和病院 23.4

済生会豊浦病院 19.8

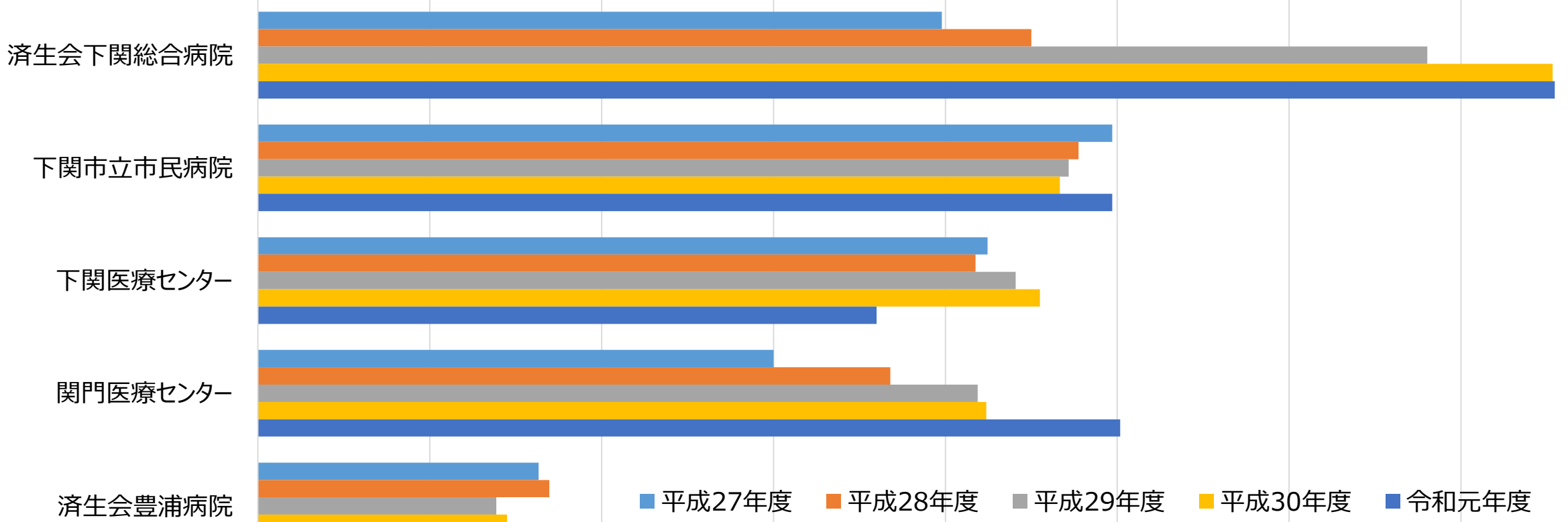
下関市立豊田中央病院 7.4

■ 常勤 ■ 非常勤

	常勤	非常勤	合計
済生会下関総合病院	77.0	6.1	83.1
下関市立市民病院	69.0	3.7	72.7
関門医療センター	49.0	5.5	54.5
下関医療センター	44.0	0.0	44.0
昭和病院	16.0	7.4	23.4
済生会豊浦病院	16.0	3.8	19.8
下関市立豊田中央病院	5.0	2.4	7.4

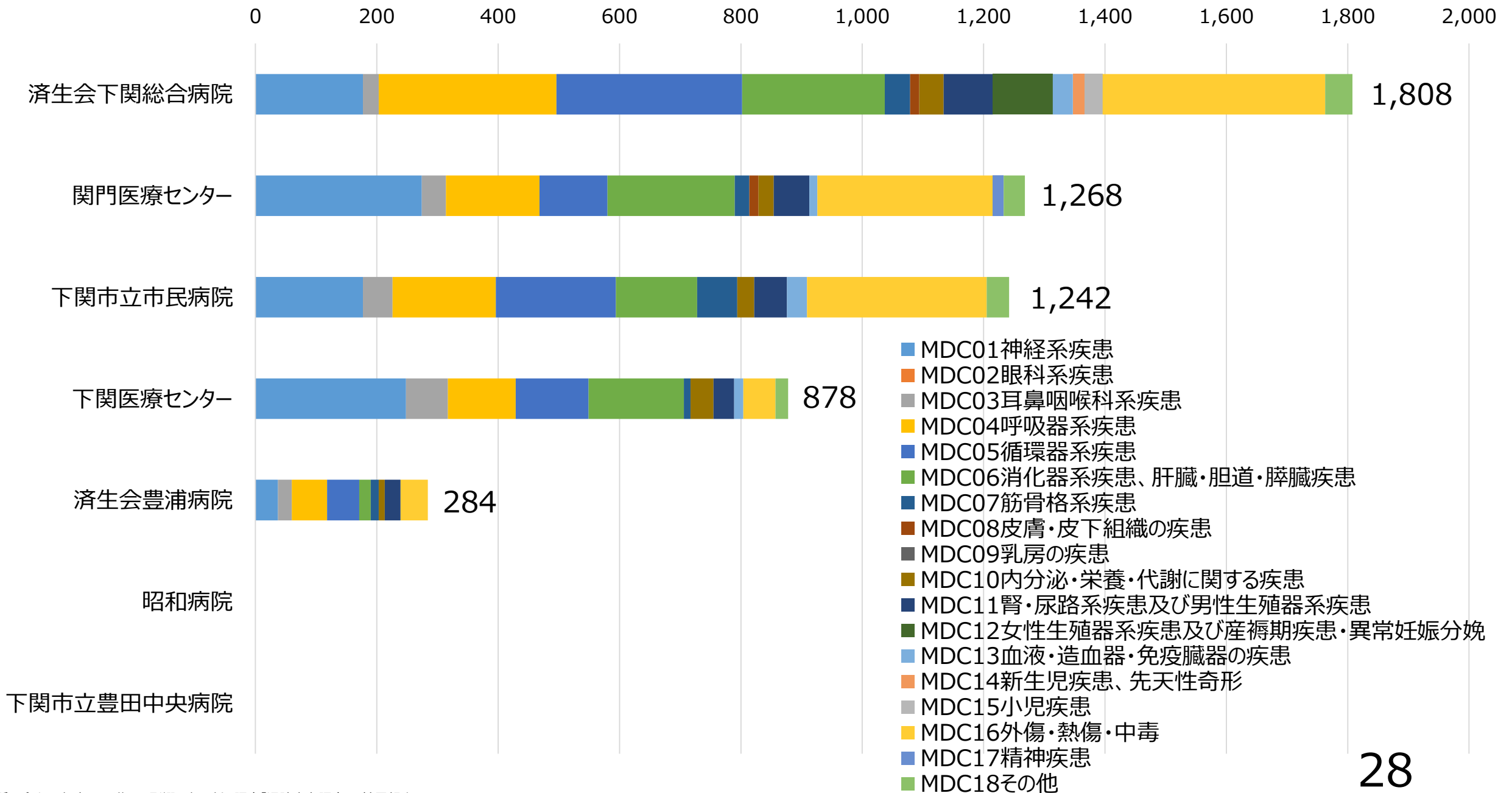
【下関】救急車による搬送 1か月当たりの数（過去5年間）

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 120.0 140.0 160.0



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
済生会下関総合病院	79.6	90.0	136.1	150.7	150.9
下関市立市民病院	99.4	95.5	94.3	93.3	99.4
下関医療センター	84.9	83.5	88.2	91.0	72.0
関門医療センター	60.0	73.6	83.8	84.8	100.3
済生会豊浦病院	32.7	33.9	27.8	29.0	22.1
下関市立豊田中央病院	0.5	2.0	3.5	4.3	3.8
昭和病院	3.0	0.7	0.8	1.4	1.3

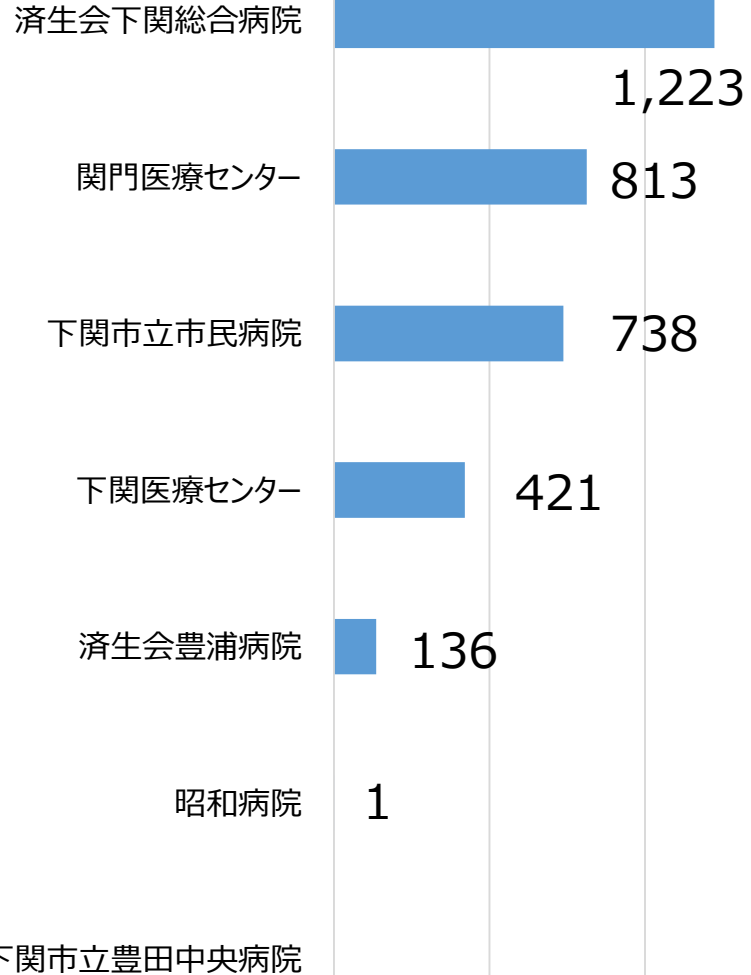
【下関】救急車による搬送 MDC別



【下関】化学療法／放射線療法／全身麻酔件数

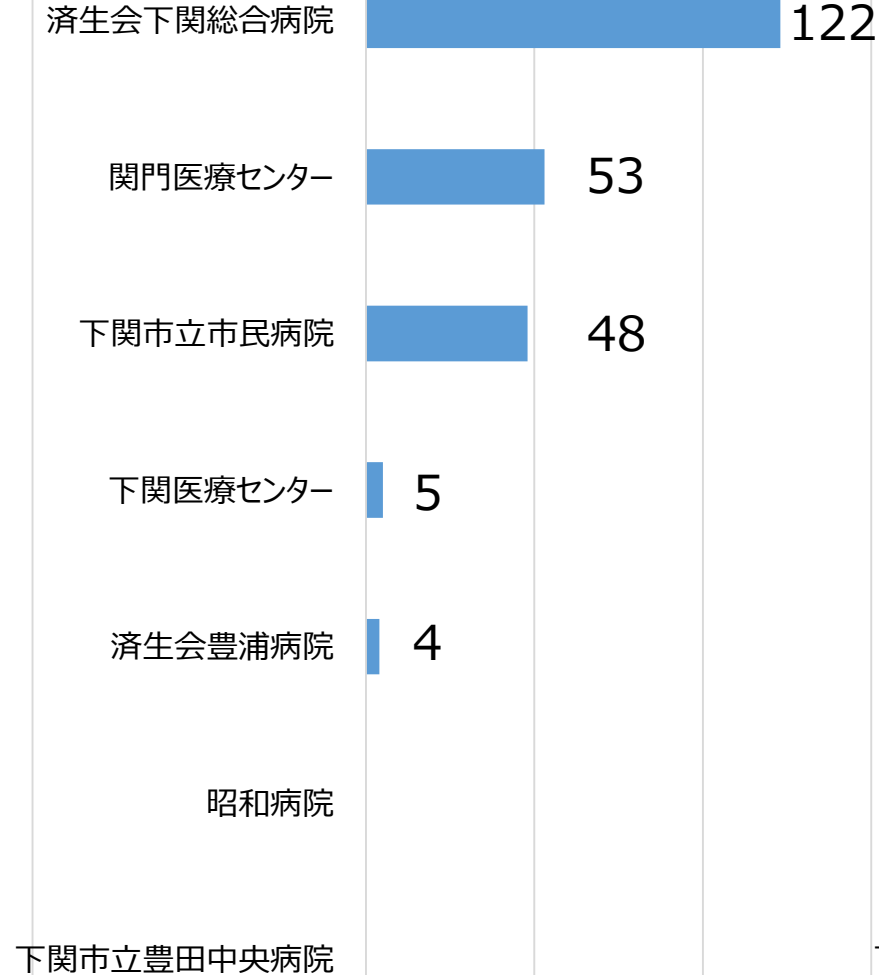
化学療法

0 500 1,000 1,500



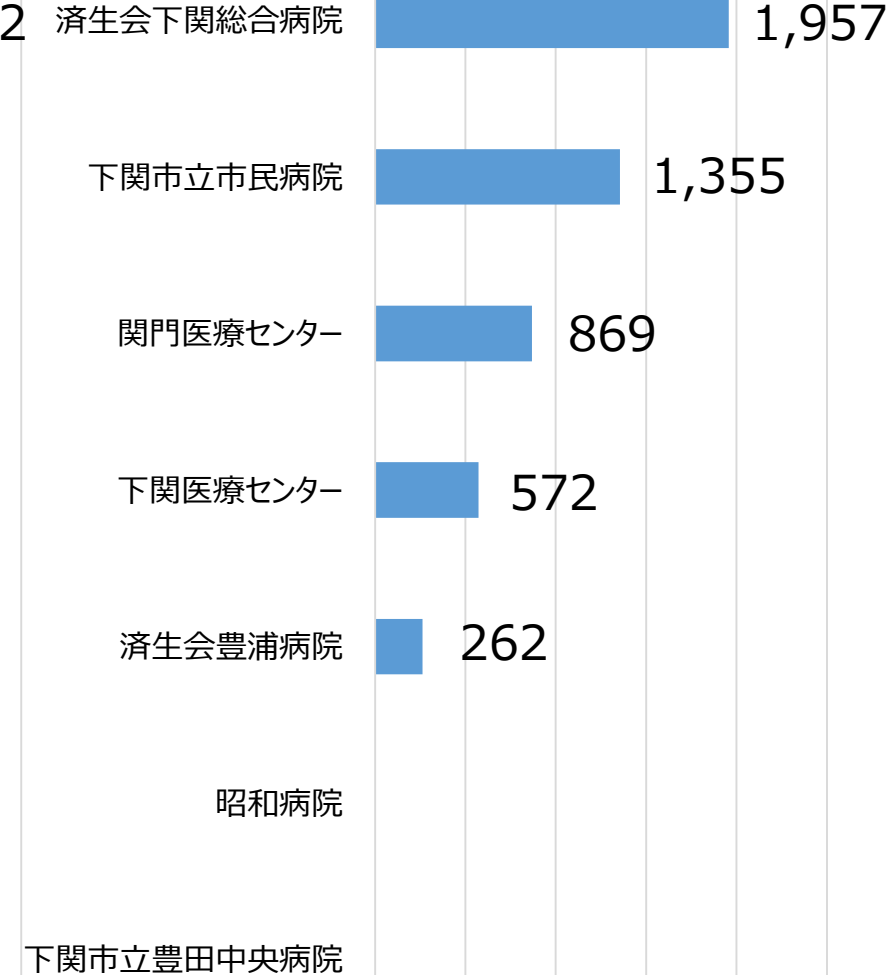
放射線療法

0 50 100 150



全身麻酔

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500



【下関】DPC患者数 MDC別

0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000 8,000 9,000

済生会下関総合病院



8,780

下関市立市民病院



6,001

関門医療センター



4,882

下関医療センター



3,539

済生会豊浦病院



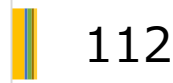
1,734

下関市立豊田中央病院



541

昭和病院



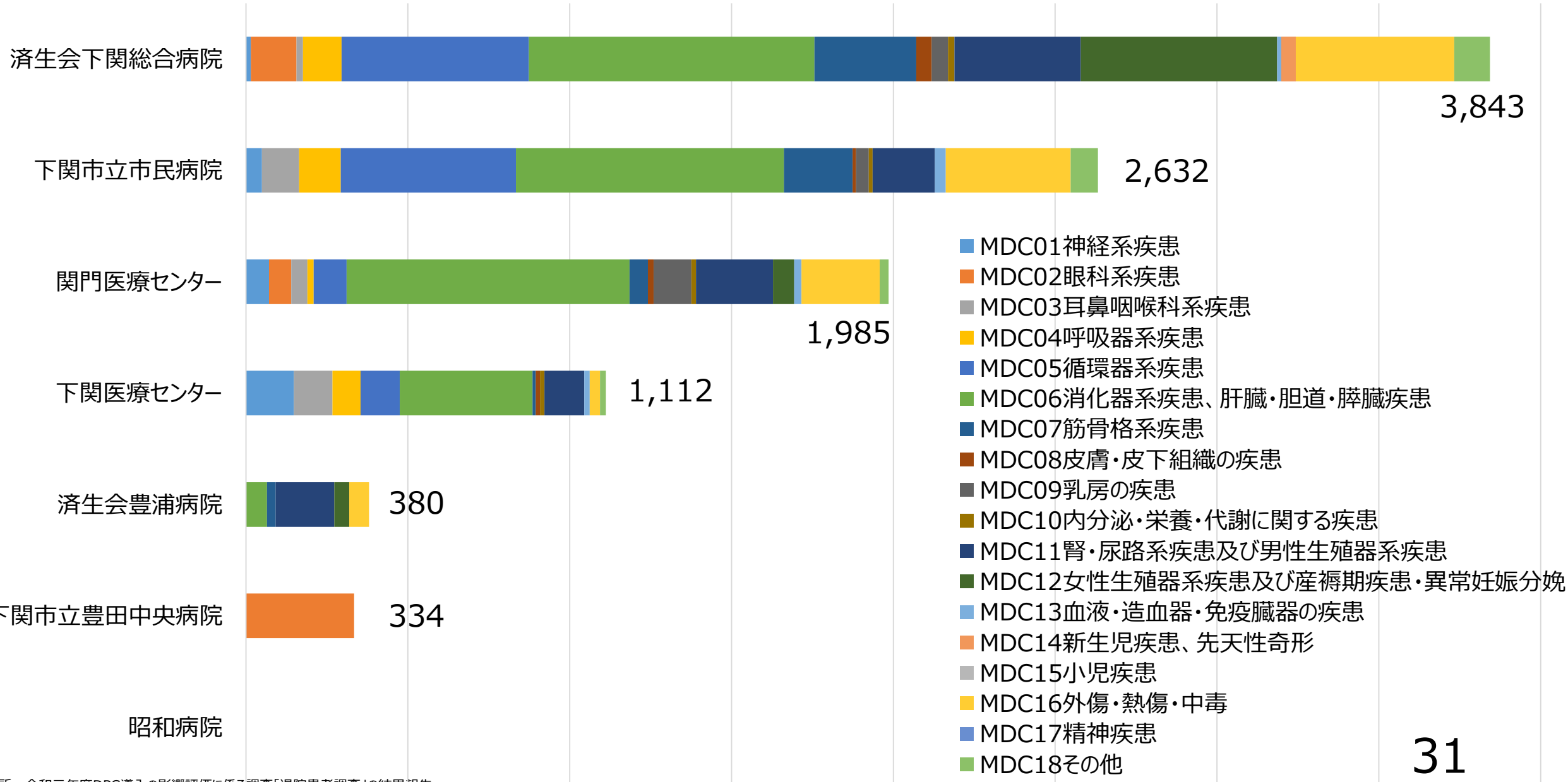
112

- MDC01 神経系疾患
- MDC02 眼科系疾患
- MDC03 耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04 呼吸器系疾患
- MDC05 循環器系疾患
- MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07 筋骨格系疾患
- MDC08 皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09 乳房の疾患
- MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14 新生児疾患、先天性奇形
- MDC15 小児疾患
- MDC16 外傷・熱傷・中毒
- MDC17 精神疾患
- MDC18 その他

30

【下関】 D P C 患者数 手術あり M D C 別

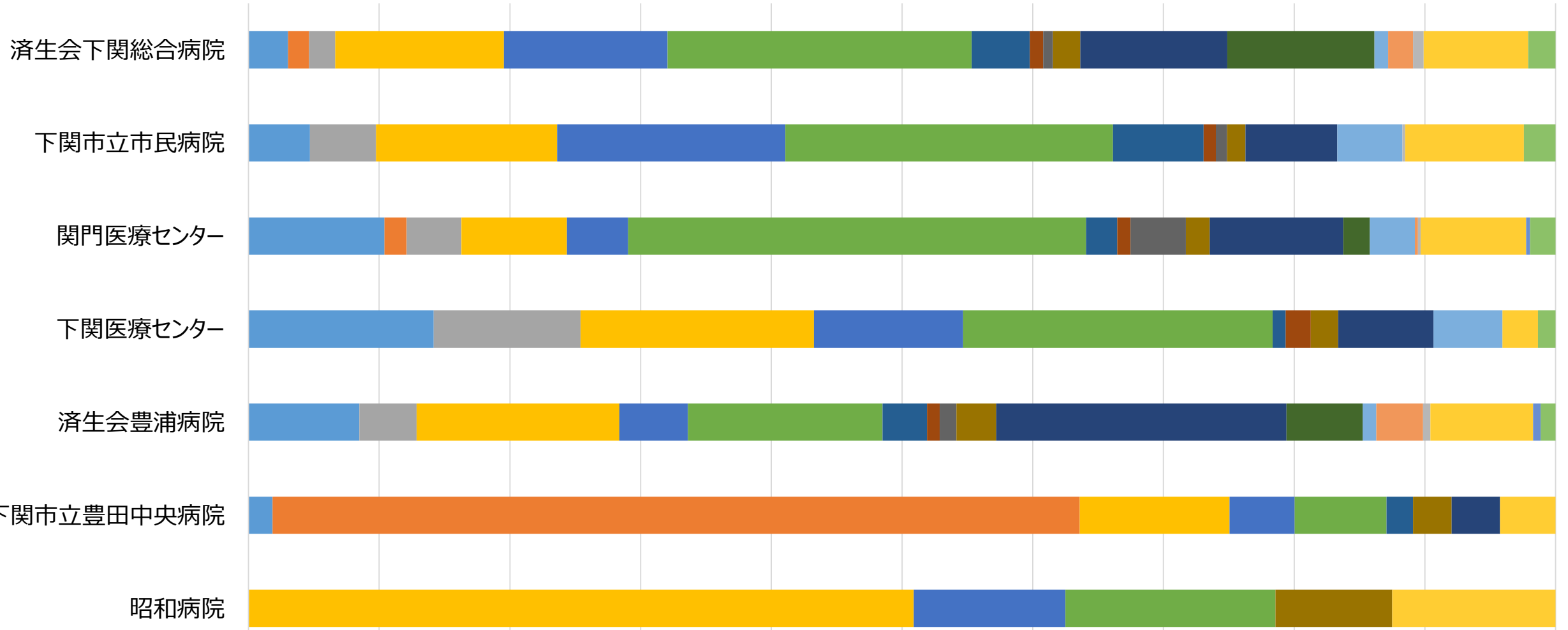
0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000 3,500 4,000



出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

【下関】DPC患者 MDC別構成比

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

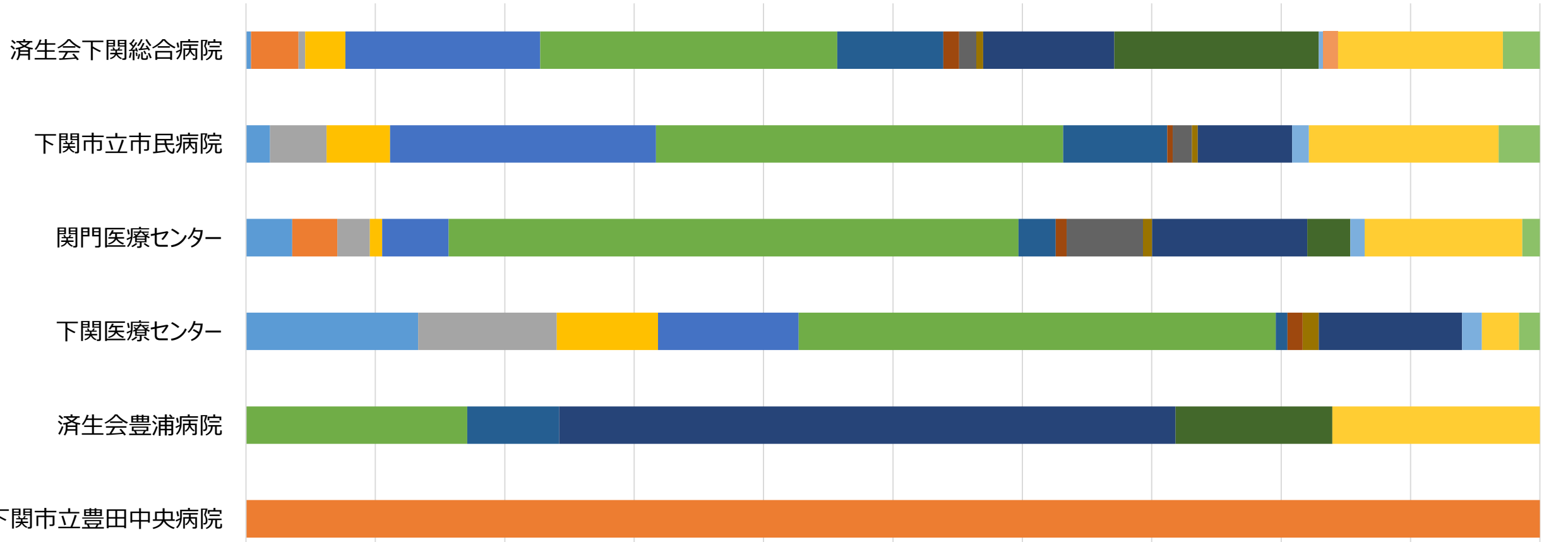


- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

【下関】 D P C患者数 手術あり M D C別構成比

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

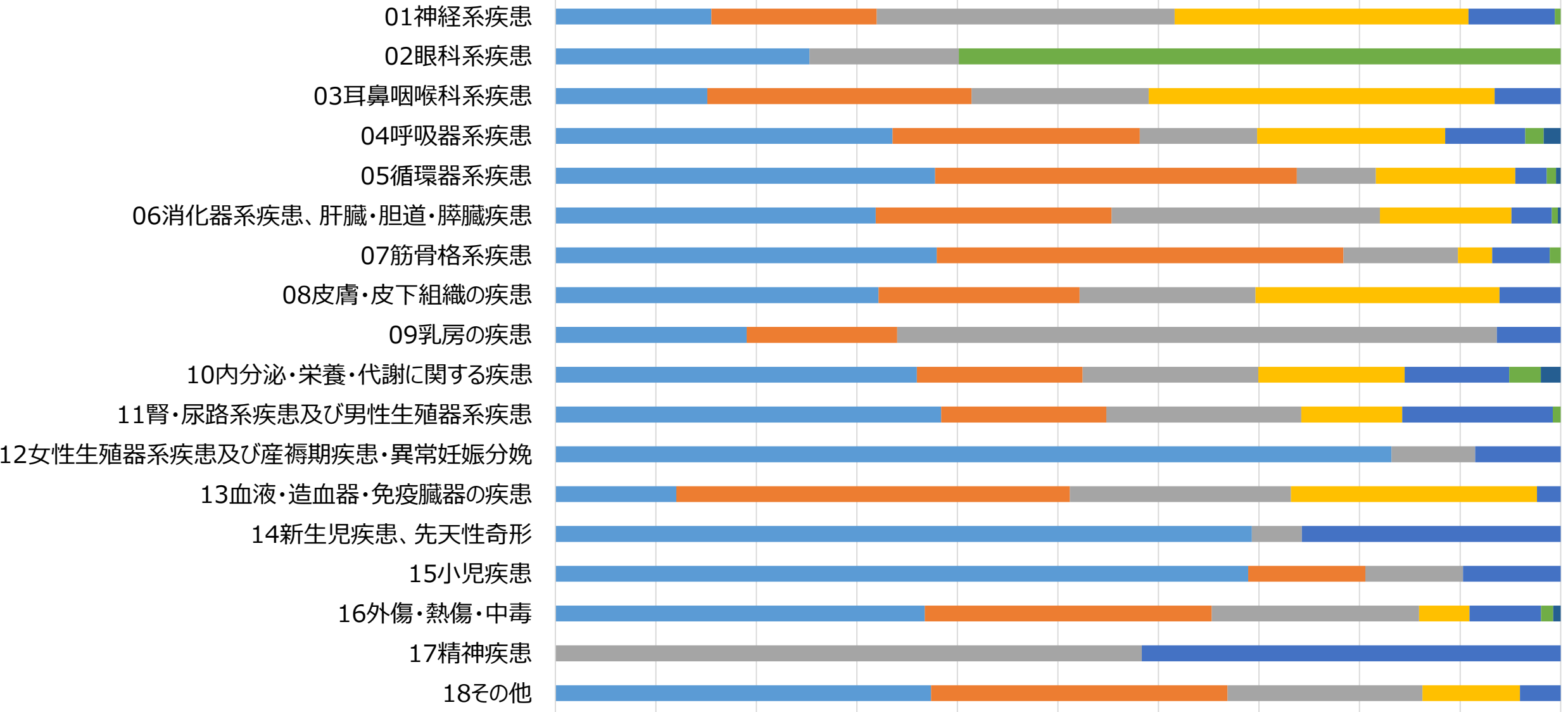


- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

【下関】DPC患者 病院別構成比

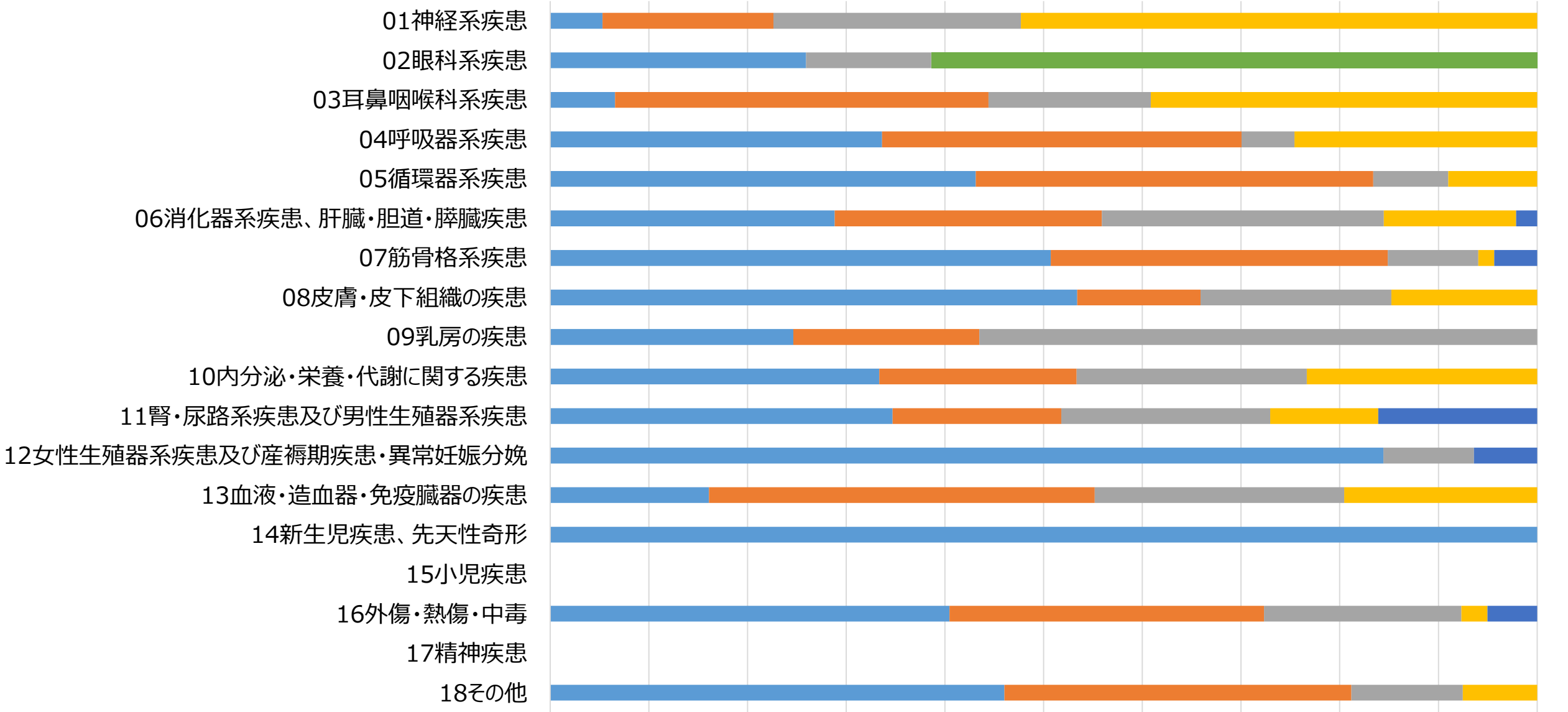
MDC 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 済生会下関総合病院 ■ 下関市立市民病院 ■ 関門医療センター ■ 下関医療センター ■ 済生会豊浦病院 ■ 下関市立豊田中央病院 ■ 昭和病院

【下関】DPC患者 手術あり 病院別構成比

MDC 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 済生会下関総合病院
 ■ 下関市立市民病院
 ■ 関門医療センター
 ■ 下関医療センター
 ■ 済生会豊浦病院
 ■ 下関市立豊田中央病院
 ■ 昭和病院

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告